



農政資料 第九輯

(代謄寫)

新竹州下ニ於ケル各業佃會ノ事業計畫

新  
竹  
州

始







政  
資  
料

第  
九  
輯



發行所寄贈本



凡 例

- 一、本書ハ新竹州農政當務者並ニ農附研究者ノ便宜ノ爲メ新竹州下ニ於ケル各業佃會ノ事業計畫ヲ謄寫ニ代ヘ印刷ニ改シタルモノナリ
  - 二、本書ハ昭和八年度ニ於ケル事業計畫ニシテ各業佃會ヨリノ報告ヲ勸業課ニ於テ取纏メタルモノナリ
- 昭和八年九月

新 竹 州



中華民國二十八年

新竹市聯合商業公會

本會為便利會員及社會起見特將本會所屬各業公會之業務

分列於左

一、竹東郡聯合商業公會

二、中壢郡聯合商業公會

三、桃園郡聯合商業公會

四、大溪郡聯合商業公會

五、竹南郡聯合商業公會

六、苗栗郡聯合商業公會

七、大湖郡聯合商業公會

目次

一、郡聯合商業公會

一、新竹郡聯合商業公會

二、中壢郡聯合商業公會

三、桃園郡聯合商業公會

四、大溪郡聯合商業公會

五、竹東郡聯合商業公會

六、竹南郡聯合商業公會

七、苗栗郡聯合商業公會

八、大湖郡聯合商業公會

二、市街庄業公會

一、新竹市業公會

二、舊港庄業公會

三、紅毛庄業公會

四、湖口庄業公會

五、新埔庄業公會

六、關西庄業公會

七、六家庄業公會



八、香山庄業佃會.....	五
九、中壢街業佃會.....	五
一〇、平鎮庄業佃會.....	六
一一、楊梅庄業佃會.....	六
一二、新屋庄業佃會.....	六
一三、觀音庄業佃會.....	七
一四、桃園街業佃會.....	七
一五、蘆竹庄業佃會.....	七
一六、大園庄業佃會.....	八
一七、龜山庄業佃會.....	八
一八、八塊庄業佃會.....	八
一九、大溪街業佃會.....	九
二〇、龍潭庄業佃會.....	九
二一、竹東庄業佃會.....	九
二二、芎林庄業佃會.....	一〇
二三、橫山庄業佃會.....	一〇
二四、北埔庄業佃會.....	一〇
二五、峨眉庄業佃會.....	一一
二六、寶山庄業佃會.....	一一
二七、竹南庄業佃會.....	一一

二八、頭分庄業佃會.....	一五
二九、三灣庄業佃會.....	一七
三〇、南庄業佃會.....	一八
三一、造橋庄業佃會.....	一八
三二、後龍庄業佃會.....	一三
三三、苗栗街業佃會.....	一三
三四、頭屋庄業佃會.....	一四
三五、公館庄業佃會.....	一四
三六、銅鑼庄業佃會.....	一四
三七、三叉庄業佃會.....	一五
三八、苑裡庄業佃會.....	一五
三九、通霄庄業佃會.....	一五
四〇、四湖庄業佃會.....	一六
四一、大湖庄業佃會.....	一六
四二、獅潭庄業佃會.....	一六
四三、卓蘭庄業佃會.....	一六



一、各郡聯合業佃會事業計畫



## 一、新竹郡聯合業佃會

### 經營方針

昭和五年八月以降ノ農産恐慌以來郡民一般ノ受クル打撃ハ頗ル甚大ニシテ特ニ農産物價格ノ暴落ハ止ル處ヲ知ラズ、爲メニ農家經濟ハ著シク逼塞シ生活上大ナル脅威ヲ受クルニ到リタルハ頗ル遺憾トスル所ナリ。

況シヤ郡下總人口一〇八、〇三六人ノ内農業人口ハ六一、九一四人實ニ住民ノ五七%ヲ占ムルニ於テ其影響測リ知ルヘカラス、故ニ農村ノ振興ヲ圖リ農民ノ救済ヲナスハ焦眉ノ急ニシテ一日モ忽緒ニ付スハカラサルモノナリ、幸ニ不況打開策トシテ州ニ於テ産業五ヶ年計畫ヲ樹立セルヲ以テ郡庄共産業五ヶ年計畫ヲ樹立セリ。

今後ノ業佃會ハ此ノ計畫實行ニ邁進シ、之レカ必要ナル事業ヲ行ハントスルモノナリ。

### 事業計畫

#### 一、指導方針確立

##### イ、精神訓練

A、共存共榮ヲ目的トシ相互扶助及共同一致精神養成



B、自力更生精神ノ養成  
補助獎勵金等ニ對スル依頼精神ヲ打破ス。  
C、向上心ノ養成

州郡庄ノ指導ニヨリ向上心ヲ養成ス。  
ロ、智識ノ向上技術ノ習得ヲ圖ラシムルコト。  
二、小作慣行ノ改善

郡下耕地自小作別狀況戸口農家別割合

イ、總耕地	二二、〇七八甲	
自作地	七、〇〇四甲	三一、七三%
小作地	一五、〇七四甲	六八、二七%
ハ、農業戸口		
總戸數	一六、四二二戸	
農業戸數	九、〇九六戸	五五%
總人口	一〇八、〇三六	
農業人口	六一、九一四人	五七%

ハ、自小作別農業戸口  
自作農 二、二五三戸 二五%  
小作農 六、八四三戸 七五%  
自作人口 一四、九八八人 二六%  
小作人口 四五、九二六人 七四%  
前記何レモ小作大部分ヲ占メ昭和七年度ハ小作地一、九二七甲ヲ完成シ一七、五%ヲ得テ成績見ルヘキモノアリ、本年度ハ更ニ全力ヲ傾注シ面積三、八五六甲二五、五%ヲ得郡平均七五%迄進マシム之レヲ表示セバ

庄別	小作地面積	昭和七年度迄契約面積	割合	完成	豫定	面積	計
舊港	一、五六八甲	七九	四七、一%	四〇〇	三〇〇	二九	八九
紅毛	二、一〇七	二、〇〇三	九五、一%	一〇四	一〇〇、〇	—	一〇四
湖口	二、二八四	一、五六二	七二、五%	六三	一〇〇、〇	—	六三
新埔	二、九二〇	七七	二四、九%	—	七〇〇	—	二、一九三
關西	三、五三八	一、四二五	四〇、六%	一、〇〇〇	七〇〇	—	二、一三三
六家	一、三〇七	四二	三三、二%	三〇〇	三〇〇	—	八八六
香山	一、四五〇	五九〇	四〇、七%	四三〇	七〇、三%	—	八六〇
計	一五、〇七四	七、四六七	四九、五%	三、八五六	二、三〇〇	—	七、六〇七



三、農事改良實行小組合ノ指導

- イ、小組合ノ指導ハ指導方針ニ基キ指導ス。
- ロ、各小組合ノ品評會開催

一、農事改良實行組合ノ指導統制

- 農村ノ振興ハ、農事團體ノ活躍ニ俟ツモノ多ク産業各般ノ獎勵事業ハ總テ此種團體ヲ中心ニ指導ヲ要スルヲ以テ、産業五ヶ年計畫ノ實施上之レガ徹底的指導統制ヲ爲サムトス。
- 二、小作契約ノ斡旋並ニ主旨ノ宣傳
  - 農閑期ヲ利用シ部落的ニ會員ヲ召集又ハ戸別訪問等ノ方法ニ依リ、街庄業佃會ト協力提携シ契約締結ノ斡旋並ニ會員ノ加入勸誘ヲナサムトス。
  - (イ) 街庄或ハ落部毎ニ農談會ヲ開催本事業ノ主旨ヲ宣傳セントス。

二、中壙郡聯合業佃會

郡名	業佃會名	設立年	員數	事務所	備考
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	
中壙郡	聯合業佃會	昭和十一年	1000	中壙郡役所	

三、愛佃施設ノ獎勵

(ロ) 郡外業主ノ入會勸誘並ニ、小作契約ノ斡旋ヲ極力實施セントス。

愛佃施設ノ普及ハ兩者ノ融和ヲ促進シ農村ノ平和ニ寄與スル所頗ル多ク、將來ハ一層本施設ヲ徹底的ニ勵行セシムヘク、苟モ地主個人又ハ共同ニ依ル愛佃施設ニ對シテハ、極力指導獎勵ニ努メ以テ協調融和ノ實ヲ舉ケムトス。

四、優良業佃及篤農家ノ養成

農村ノ開發ハ其ノ地方ニ活動スベキ優良業佃及篤農家ノ献身ノ努力ニ待ツベキモノ多シ之ヲ養成スルコトハ農村開發上最モ肝要ナルヲ以テ將來積極的ニ此等中心人物ヲ養成セムトス。

五、小作紛争ノ協調

街庄業佃會ト相提携業佃兩者ノ親睦協調ニ努ムルト共ニ、紛争ノ豫防ニ努力スルハ勿論ナルモ萬一紛争發生シタル場合ハ、當該街庄ヲ指導シ極力公正ナル調停ヲ爲サムトス。

六、業佃事業打合會開催

業佃事業ノ發展ニ資スル爲メ月ニ一回、郡内ノ街庄業佃會書記ヲ召集シ事業及事務ニ關スル打合並ニ研究ヲナサムトス。

七、業佃事業優良地方視察



優良業佃會並ニ先進農村事情ノ視察ヲ行ヒ、會務ノ進展ニ努メ以テ業佃兩者ノ自覺ヲ促シ農村ノ振興ヲ圖ラムトス。

八、各業佃會指導統制

郡聯合業佃會ハ、街庄業佃會ト連絡ヲ保チ常ニ加入業佃兩者間ノ事情ヲ精査シ、斯會ノ指導統制ヲ爲サムトス。

九、以上各項以外ニ本事業遂行上必要ナル資料ノ調査並研究ニ努力セムトス、其ノ主ナル事項左ノ如シ。

(一) 小作料ノ費途

(イ) 租稅額

(ロ) 生活費

(ハ) 農事改良費(愛佃施設費)

(ニ) 農事以外ノ設備費

(ホ) 浪費

(ヘ) 其他

(二) 小作人ノ借金

(イ) 農事資金

(三) 農家經濟調査

1、自作農家

2、自作兼小作農家

3、小作農家

三、桃園郡聯合業佃會

一、小作契約締結ノ實施見込件數及面積

街庄別	新契約見込件數	全上面積	契約更新見込件數	全上面積	備考
桃園	60	123甲	50	150甲	
蘆竹園	40	175	30	60	
大園庄	100	600	70	300	



龜山庄	三〇〇	四五〇	五〇	二〇〇
八塊庄	九〇	一九五	三〇	六〇
計	四七〇	一、五九三	三三〇	六八〇

二、小作紛争調停  
 常ニ事件ノ發生ヲ未然ニ防止スルニ努ムルハ勿論ナルモ、發生シタル場合ハ迅速且ツ慎重ナル態  
 度ヲ以テ業佃双方ノ事實ヲ精査シ周到ナル注意ヲ拂ヒ最モ公平ナル解決案ヲ以テ、業佃兩者ノ圓  
 満和解ヲ圖ラントス。

三、會員加入勧誘  
 本年度ハ左記ノ通り會員ノ加入ヲ勧誘セントス。

街庄別	昭和七年度末現在會員數	昭和八年度會員加入豫定數	備考
桃園街	四八四	八〇	
芦竹庄	八六〇	一〇〇	
大園庄	九二四	一〇〇	
龜山庄	八二六	六〇	
八塊庄	七七八	五〇	

計	三、八五二	三九〇	
---	-------	-----	--

四、諸調査

1、土地經濟調査  
 農家基本調査ヲ爲ス

2、農業經濟調査  
 自作、自作兼小作、小作者等ノ農家經濟調査ヲ爲ス

五、奨勵及指導

1、防風林設置  
 2、自給肥料製造  
 3、養豚養鶏  
 4、米種改良  
 5、改良農具使用普及  
 6、愛佃施設普及

7、農事改良實行小組合事業經營

六、篤農家養成



優良ナル耕作者ヲ選定シ耕作上必要品ノ一部ヲ補助シ合理的農業經營方法ヲ指導シ一般ノ模範ヲラシメントス。

### 七、業佃融和

- 1、業佃懇談會
- 2、農事講話會
- 3、活動寫真映寫會

右ハ農閑期又ハ適當ナル時期ニ於テ、業佃兩者及自作者ヲ集メ郡並ニ農會技術員又ハ篤農家ヲ招聘シ有益ナル講話ヲ開カシメ農業智識ヲ啓發シ農事ノ發達業佃ノ融和親善ヲ期セントス。

### 八、農民教育ノ普及

農閑期ヲ利用シ農家子弟ニ對スル農事講習會ヲ開催シ、以テ農民教育ノ普及ヲ計ラントス。

### 九、農事視察

優良農村視察ヲ行ヒ、之カ見聞ヲ博メ農業經營ノ發達ヲ期セントス。

### 一〇、講習會開催

各業佃會書記ニ對シ短期測量講習會ヲ開キ業佃兩者ノ爲メニ無料測量ノ便宜ヲ與ヘントス。

## 四、大溪郡聯合業佃會

小作慣行改善ヲナシ農産増殖ノ基礎ヲ強固ニシ農家平和ノ維持増進ノ實ヲ舉ゲ以テ本會設立ノ主旨目的ヲ徹底セシムル爲メ各街庄佃業會ヲ督勵ノ上左記事項ノ遂行ヲ期セントス。

### 一、主旨宣傳

左記方法ニ依リ本會主旨ノ徹底ヲ期セントス。

1、農事小團體懇談會又ハ家長會保甲會等ノ集會ヲ利用シ、宣傳講話ヲ爲シ以テ一般ノ理解ヲ促サントス。

2、一、二期作收穫後ノ農閑期及賸耕契約更新期前ニ於テ、管内各部落ヲ適當ニ區分シ小作改善講話會ヲ開催シ、主旨ノ宣傳ニ努メントス。

3、適當ナル時期ニ於テ、業佃ニ關スル有益ナル宣傳ビラ又ハ管内事業狀況ヲ印刷配付シ、以テ主旨ノ普及ヲ計ラントス。

### 二、會員加入勸誘

本會加入者數ハ今ノ處尙半數ニ足ラス依テ未加入者ニ對シ昭和八年度ヨリ向ノ三ヶ年間ニテ全部加入セシムル目標ノ許ニ本年度ハ左記方法ニ依リ勸誘ニ努メントス。



- 1、未加入業佃者一覽表ヲ作製シ税調査ノ機會ヲ利用シ加入勧誘ニ努メントス。
- 2、右ノ勧誘ニ依リ尙未加入者アル場合ハ農事實行小組合ノ活動ニ依リ完成セシメントス。

昭和八年度會員加入勧誘豫定表

業佃會別	業佃關係人員	昭和八年二月末日現在加入者	差引未加入者	昭和八年度加入豫定數	摘
大溪街業佃會	二、七八六	一、一三〇七	一、四七九	四四四	
龍潭庄業佃會	二、六〇七	一、一七三	一、四三四	四四六	
計	五、三九三	二、四八〇	二、九二三	八九〇	

三、小作契約締結斡旋

現在小作契約締結済ノモノハ小作地ニ於テ三九〇小作件數ニ於テ三六〇ナリ尙過半ノ未契約地及未契約者アルヲ以テ、各街庄業佃會ヲ督勵シ、五ヶ年計畫ヲ以テ全部締結セシベク本年度ハ左記方法ニ依リ勧誘斡旋ニ努メントス。

(イ) 街庄ニ備付アル小作臺帳ニ基キ、未契約業主並個人一覽表ヲ作製シ業佃兩者ノ意見並業佃關係内容ヲ聴取シ、其ノ實況ニ對シ適宜ノ場所或ハ戸別訪問等最モ實行可能ノ方法ヲ以テ契約

斡旋ニ努メントス。

- (ロ) 右ニ依リ尙契約實行セザルモノニ對シテハ農事實行小組合ノ活動ニ依リ締結セシメントス。
- 2、管外業主勧誘
  - (イ) 管外業主ニ對シテハ夫々各關係業佃會ニ契約勧誘方ヲ依頼シ、其ノ狀況ニ依リ實行手配ヲナシ直接交渉又ハ、該關係業佃會ニ依頼シ契約斡旋ニ努メントス。

(一) 小件數締結斡旋

業佃會別	小作總件數	昭和八年二月末日現在締結済件數	差引未締結件數	昭和八年度締結豫定數	摘
大溪街業佃會	一、三八〇	五〇三	八七七	一四二	
龍潭庄業佃會	一、〇五五	三三九	七一六	一七	
計	二、四三五	八四二	一、五九三	二五九	

(二) 小作面積締結斡旋

業佃會別	小作總面積	昭和八年二月末日現在締結済面積	差引未締結件數	昭和八年度締結豫定表	摘
大溪街業佃會	三、〇二四、七六二	一、三五六、七二二	一、六六七、九八〇	二八五、二五九	



龍潭庄業佃會	三、一四五、二七〇	一、〇六七、二四五	二、〇七七、八八五	三三八、三五八六
計	六、一六九、八九六二	二、四二四、〇一七	三、七四五、八七五	六三三、四七五

四、契約更新斡旋

本事業ハ昭和三年度ヨリ實施最初セルヲ以テ締結セシモノ、中ニハ期限滿了ノモノアルヲ以テ之レ等ニ對シテハ必ズ繼續契約セシムル方針ノ下ニ、管内各大字別契約締結濟一覽表ヲ作製シ之ニ基キ小作契約更新方ヲ勸誘セントス、而シテ實施豫定數左ノ如シ。

業佃會別	更新ヲ要スル小作總件數		昭和八年度更新豫定數	
	全	上	全	上
大溪街業佃會	五〇三	一、三五六、七三二	四〇	二二、一七〇〇
龍潭庄業佃會	三三九	一、〇六七、二四五	一〇	二六、九三九
計	八四二	二、四二四、〇一七	五〇	一五、〇九三

五、農事紛争防止並調停

當會ハ常ニ業佃兩者ノ行動ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ事件ノ發生ヲ未然ニ防止シ平和ナル農村ノ建設ニ努ムルハ勿論、若シ業佃間ニ紛争ヲ起シタル場合ハ其ノ實情ヲ精査シ、周圍ノ慣行實例等ヲ參酌シ公平ナル調停ヲ行ヒ以テ兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

六、業佃懇談會

1、未契約業佃懇談會

農閑期又ハ契約締結前ニ未契約業佃ヲ適當ノ場所ニ集合懇談セシメ、業佃兩者ノ融和ヲ計リ契約斡旋ニ努メントス。

2、契約濟業佃懇談會

二期作收穫後ノ農閑期ヲ利用シ契約締結濟業佃ヲ適當ナル場所ニ集合セシメ契約後ニ於ケル業佃融和狀況ヲ聴取シ其ノ上農業上ニ於ケル有益ナル講話ヲ爲シ業佃關係ヲ一層圓滑ナラシメントス。

七、愛佃施設實施獎勵

前年度成績優良ナルニ鑑ミ、本年度モ引續キ本會事業ニ理解ヲ有スル業主ヲ選擇シ、其ノ佃人ニ對シ農事改良上必要ナル施設ヲ獎勵シ以テ愛佃ノ實ヲ擧グシメ業佃兩者ノ幸福増進ニ努メントス。

八、先進地視察

本會事業ニ對シ特ニ熱心ニシテ他ノ範タルベキモノヲ選擇シ、優良先進地ヲ視察セシメ以テ本會事業ノ促進ニ資セントス。

九、諸調査



本事業ノ進展ニ伴ヒ其ノ効果ヲ明カニスル目的ノ下ニ適當ナル場所ニ於テ長期契約者ト、短期口頭契約者トノ農業經營狀況其ノ他諸般ニ且リ比較調査ヲ行ヒ、事業遂行ノ參考資料ニ供スルト共ニ時々其ノ成績ヲ公表シ以テ本事業ノ效果ヲ周知セシメントス。

10、農事實行小團體指導獎勵

從來農事諸般ノ施設實行ニ就キテハ、郡街庄ハ直接多數ノ農家ヲ相手トシ之レガ指導獎勵ヲナシタル爲メ、其ノ間各農家ノ聯絡統制ヲ欠キ不徹底ノ點多ク從テ幾多ノ努力モ其ノ實績ヲ擧ゲ得ス、農村啓發上遺憾ノ點甚ナカラザリシヲ痛感ス、茲ニ於テ當郡ハ州産業五ヶ年計畫ニ基キ地方部落ニ於ケル中心人物ヲ主体トセル、二〇乃至三〇戸程度ノ業佃會員ヲ糾合シ郷土愛ト共同的精神ニ基クル強力ナル實行小團體ヲ左記豫定表ノ通り設立シ組合員一致團結ノ下ニ合理的農業ノ經營ヲナシメ農産増殖ノ實現ト業佃間ノ親善融和ヲ圖リ堅實ナル農村ノ建設ニ努メシトス。

農事實行小組合設立豫定表

街庄別	小組合設立豫定表	昭和七年度既設小組合數	昭和八年度設立豫定表	摘
大 溪 街	二九	二	一八	要

龍 潭 庄	計	一六	七	九

二、表彰

1、優良業佃表彰

會員中他ノ範タルベキモノヲ選擇シ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ表彰セントス。

2、優良農事實行小組合團體表彰

農事改良實行小組合ノ設立ハ昭和七年度十八ヶ所本年度ニ於テ二七ヶ所計四五ヶ所設立ノ豫定ニテ之ニ對シ成績優良ニシテ他組合ノ範タルモノヲ選擇シ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ表彰シ、以テ一般組合ノ成績向上ニ資セントス。

五、竹東郡聯合業佃會

一、小作契約締結實施

業佃會設立以來各庄業佃會ヲ督勵シ、極力書式契約締結ニ努メ來リ之ガ契約濟割合ガ郡内小作地總面積三七四三〇ニ過ギズ、郡産業五ヶ年計畫ノ八〇〇〇ニ及バサルコト遠シ本事業ハ農業經營ノ根本ヲ爲スモノナレバ一日モ忽緒スベカラザルコトヲ自覺シ、本年度ハ左記割當面積ノ契約ニ萬



難ヲ排シ邁進シ完成セシメントス。

庄業佃會別	昭和八年 契約豫定面積	全上歩合	昭和八年 三月末現在	摘
竹東	七、八	五、二	三、五	
青林	五、三	七、四	四、四	
横山	三、二	八、五	七、〇	
北埔	八、七	六、七	二、三	
峨眉	五、三	六、二	四、〇	
寶山	七、三	五、四	一、八	
計	三、六八	六、五	三、七	

二、本會主旨ノ宣傳

- イ、業主懇談會 適宜ノ時機ニ於テ業主懇談會ヲ開催シ業佃會主旨ノ徹底ニ努ムルコト。
- ロ、講話會 諸集會等テ利用シ又ハ農閑期及舊八月契約更新期前後ニテ各庄適宜ノ場所ニ業佃兩者ヲ集合セシメ業佃講話會ヲ開催シ主旨ノ宣傳ニ努ムルコト。
- ハ、業佃會ノ必要ナル事項ヲ印刷シ公學校職員ニ依頼シテ兒童及公民講習所生又ハ青年團ニ配付シ本會ノ主旨ヲ理解セシムルコト。

三、紛争調停

業佃會設立以來本會ノ調停ニ信頼スルモノ漸次増加スル趨勢ニアリ、今後ハ一層細心ノ注意ヲ拂ヒ以テ一切ノ紛争問題ヲ敏速ニ解決セシトス。

四、契約濟個人指導

契約濟小作人ニ對シテ其ノ目標タル地力増進生産増加ニ向ツテ極力之ヲ指導シ契約後ニ於ケル生産増加ノ實力ヲ擧クルコトニ努メントス。

五、愛佃施設ノ獎勵

愛佃施設ノ普及ハ業佃兩者ノ融和ヲ促進シ農村平和進展上ニ寄與スル所頗ル多シ、將來一層本施設ヲ徹底セシムベク業主個人又ハ共同ニ依ル小作人ノ愛佃施設ヲ獎メ右施設ニ對シテハ極力指導援助ヲナシ實績ノ向上ニ努メントス。

六、優良業佃及篤農家ノ養成

農村ノ繁榮ハ優良業佃及篤農家ノ献身的努力ニ俟ツベキモノ多ク之ヲ養成スルコトハ最モ緊要ノコトナルヲ以テ將來積極的ニ此等中心人物ノ養成ヲナサントス。

七、農事改良實行小組合ノ指導獎勵

各庄内ニ設立シタル農事改良實行小組合ニ對シテハ各庄業佃會ト協力シ、之ガ指導誘掖ニ努メ真







約締結指導督勵ヲ爲スト同時ニ各種農事改良ノ實地指導ヲ行ハントス。聯合員ノ修業ノ書式與  
 二、本會主旨ノ宣傳  
 本會設立以來既ニ七ケ年ヲ經過シ、年々本主旨ノ宣傳ニ努メタル結果、逐年書式契約ヲナスモノ  
 増加シツ、アリ、然レドモ未ダ頑迷ナル業主並不理解ナル個人相當アルヲ以テ、本年度ニ於テハ  
 徹底的ニ之等ニ對シ本會主旨ノ理解ヲナサシメンガ爲メ農事改良實行小組合毎ニ五月、九月、農  
 業閉期ニ講話會農事ニ關スル活動寫眞等ヲナス外ポスターヲ配付シ極力本會主旨ヲ徹底ニ努メント  
 ス。

六、南澤聯合業團會  
 三、業佃會員懇談會

農閑期ニ於テ農事改良實行小組合又ハ主要業主毎ニ懇談會ヲ開催シ事業ニ對スル意見ノ交換ヲナ  
 三、スト同時ニ會員相互ノ親善融和ノ實ヲ舉ケ事業ノ進展ヲ圖ラントス。  
 四、優良業主個人及優良實行小組合ノ表彰  
 一、優良業主個人ノ表彰  
 本會員中ヨリ模範トナルヘキ者ヲ選拔表彰シ本事業進展ノ一助トス。  
 二、優良農事改良實行小組合表彰  
 各庄下小組合中ヨリ最左記ニ依リ成績ノ活動優良ナルモノヲ選拔表彰シ、小組合事業ノ圓滿ナ  
 ル發達ヲ促サントス。

記

- 1、組合所在地
  - 2、組合員數及組合長並幹部氏名
  - 3、組合員耕作狀況
  - 4、組合實施事業概況
  - 5、組合員ノ書式契約締結狀況
  - 6、其他
- 五、調査  
 八、本會事業遂行上及會員指導上必要ナル左記調査ヲナス。
- 1、各大字毎ニ小作料調査及契約細期限調
  - 2、不理解業佃調査
  - 3、主要業主愛佃施設調査
  - 4、其他必要ナル調査
  - 六、視察



六、優良業主個人及不理解業主個人ヲシテ先進地ノ實情ヲ視察セシメ前者ニハ部落業主個人ノ指導ヲ後者ニハ自覺ヲ促シ以テ成績ノ向上ヲ期セントス。

七、業佃事業研究

本會事業ノ發展ヲ圖ランガ爲、各庄業佃職員ヲシテ事業遂行上必要ナル事項ヲ研究セシメ、年三回研究會ヲ開催シ本會事業遂行ノ資ニ供セントス。

八、業佃事業講習會

本會事業ノ發展ハ農事改良實行小組合幹部ノ活動ニ俟ツベキモノ多シ、本年度ニ於テハ五月又ハ九月ノ農閑期ニ各庄毎ニ之等小組合幹部講習會ヲ開催シ、先ヅ幹部ニ對シ徹底的ニ本會事業主旨ヲ普及ヲ圖ラントス。

七、苗栗郡聯合業佃會

一、小作契約締結ノ實施

昭和四年度實施以來各街庄ノ努力ト業佃兩者ノ理解ニ依リ書式契約ヲ締結シタルモノ既ニ五〇%以上ニ達シ本年度ハ更ニ一層之ヲ徹底セシムル爲メ左記割當面積ノ契約完成セシメントス。

街庄別	本年成積	前年度割當面積	前年度割當トノ比較	昭和八年一月末日現在契約成積
苗栗	100	140 <sup>甲</sup> 減	100	80%
頭屋	60	160減	100	55%
公館	260	260	100	45%
銅鑼	180	180	100	67%
三叉	60	60	100	55%
苑裡	300	300	100	75%
通霄	300	240 <sup>增</sup>	60	46%
湖	140	160減	100	67%
計	1,400	1,500 <sup>減</sup>	100	50%

二、小作條件ノ改善

從來ノ小作條件ハ各街庄トモ區々ニシテ全ク統一ナク遺憾ノ點多シ、殊ニ高額ノ積地金ト小作料ハ著シク小作人ノ經濟ヲ壓迫シ、延テ農業經營ヲ困難ナラシム斯テハ、業佃兩者ノ融和ヲ期待シ得ザルノミナラズ、品質ノ改善生産ノ増進ニ重大ノ支障ヲ來ス虞ナシトセス斯ル見地ノ下ニ本年度ハ郡下一齊ニ之ニ關スル改善事業ノ宣傳勸誘ニ努メ、以テ業佃事業在來ノ目的ヲ達セントシ其ノ方法トシテ郡下十甲歩以上所有セル大地主ヲ招集シ之ニ關スル協議ヲ爲サントス。



改善ヲ要スベキ要項左ノ如シ。

- 一、小作料ノ納入 第一期作六割程度ニ改ムルコト。
- 二、積 他 金 可成廢止スルコト、己ムヲ得サル事情アルモノニ對シテモ少額ニ止メシムルコト。
- 三、小作期間 五箇年ヲ最短期トセルモ努メテ五ヶ年以上可成六十年位トスルコト。
- 四、佃 寮 努メテ之ヲ給與シ且ツ堆肥豚舎ヲ併置スルコト。
- 五、品 種 當分ノ間全小作料ヲ蓬來種又ハ丸糯ニ變更スルコトナク徐々ニ之ヲ改ムルコト。

三、紛争調停

業佃會設置以來本會ノ調停ニ信賴スルモノ漸次増加スル趨勢ニアリ、昭和七年十二月末日迄調停シタル件數ハ小作紛争二七〇件一般紛争三〇三件ニ達シ而モ紛争ノ内容ハ漸次複雑ヲ加ヘ甚シク農村ノ平和ヲ脅スモノアリ、今後ハ一層細心ノ注意ト敏速ノ取扱ニ依リ一切ノ紛争問題ヲ解決セントス。

四、愛佃施設ノ獎勵

愛佃施設ノ普及ハ業佃兩者ノ融和ヲ増進シ、農村ノ平和ニ寄與スル所頗ル多ク、一面間接的ニ生

産ノ増加ヲ促進スルモノナリ。將來一層本施設ヲ徹底セシムベク、積極的ニ大地主個人、又ハ共同ニ依リ小作人愛護施設ヲ指導誘掖シ、且ツ、便宜ト援助ヲ與ヘ其ノ效果ヲ増大セシメントス、其ノ主ナル種類左ノ如シ。

五、中心人物ノ養成

小作人懇談會、小作人肥綠競作會、小作人水稻競作會、堆肥豚舎建設獎勵、改良農具使用獎勵、小作人篤代改良、小作地深耕獎勵、小作地防風林設置獎勵、小作地區劃整理ノ獎勵。

農村ノ開發ハ其ノ地方ニ活動スベキ中心人物ノ献身的努力ニ待ツベキモノ極メテ多シ、從テ其ノ質ノ向上ト量ノ増加ヲ計ル爲ニ、之等中心人物タル優良業佃及篤農ノ養成ヲ爲サントシ、之ニ關シ本年度左ノ施設ヲ爲サントス。

- (一) 農村指導者養成農事講習會開催
- (二) 農村婦女指導者養成家政講習會開催
- (三) 印刷物配布
- (四) 農事視察
- (五) 表彰
- (六) 農事改良小組合ノ指導獎勵



六、將來産業ノ獎勵ハ勿論農村改善ニ關スル、百般ノ施設ガ總テ團體ヲ對象トシテ進ムベキモノニシテ、當郡ハ昭和五年ヨリ既ニ本事業ニ着手シ、爾來中心人物ノ献身の努力ト、農民各位ノ自覺ニ依リ、五十七ノ組合ヲ設立シ、而モ其ノ内容漸次充實シツ、アルハ誠ニ喜ブベキモノニシテ、今後産業五ヶ年計劃ニ依リ、組合數ノ増加ヲ計ルト共ニ、一層内容ノ充實ヲ期シ其ノ組織的の活動ニ依リ、郡産業五ヶ年計劃ノ大事業ヲ完成セントス。

本年成中設立ヤントスル組合數左ノ如シ。  
 苗栗四、頭屋庄三、公館四、銅鑼三、苑裡三、通霄五、四湖三、計二五組合三又ノ設置數ハ任意トス。  
 尙各小組合ノ統制ヲ緊密ニスルガ爲メ、毎年一回以上組合長會議ヲ開催ス。

七、會報ノ發行  
 業佃事業ノ實際ヲ郡民ニ徹底セシムル爲メ、年數回雜誌平和ヲ發行シ、之ヲ業佃會役職員、小組合役職員、公學校、派出所職員、街庄吏員、保甲青年團、壯丁團役員、大地主、其他有志等ニ配付セシメントス。

八、業佃事業研究會開催  
 業佃事業ノ發達ヲ促進スル爲メ、年二回郡内ノ街庄業佃會役員ヲ召集シ、事業及ビ事務ニ關スル

研究ヲ爲サントス。

九、農事改良實行小組綜合品評會開催  
 農事小團體ノ、健全ナル發達ヲ促進スル爲、本年度ヨリ郡下各農事改良實行小組合ニ對シ、其ノ内容即チ精神的の訓練ヲ主トシ、其他堆肥、水稻、養豚等各般ノ事業狀況ノ成績ヲ審査シ、優良ノモノニ對シテハ別ニ定ムル規程ニ依リ授賞セントス。  
 一〇、業佃標語ノ募集  
 業佃事業ニ對スル、郡民ノ理解ヲ促進スル爲メ、之ニ關スル標語ヲ募集シ其ノ優良ナルモノニ授賞セントス。

### 八、大湖郡聯合業佃會

一、趣旨ノ宣傳並ニ會員加入勸誘  
 本會ハ設立以來滿三ヶ年ヲ經過シタルモ、農家二、七〇〇戸中入會者ハ一、八四八名ニシテ尙ホ未加入者ハ八六二名ニ上ル、之ヲ地方別ニ見ルニ元農民組合ノ策動アリシ、地方民ノ加入至ツテ少シ、斯如キ状態ニアリテハ將來本郡下農民ニ如何ナル結果ヲ齊スヤモ計リ難シ、故ニ斯ノ如キ地方ハモトヨリ一般ニ對シテモ家長會、保甲會等ノ集會ヲ利用シ又ハ戸別訪問ヲナシ本會趣旨ノ徹



底普及ヲ計リ以テ、本年中ニ未加入者全部ヲ加入セシメントス。

二、書式契約斡旋

産業五ヶ年計畫ノ小作慣行改善事業方針ニ基キ、書式契約ヲ實施セントスルモノナルモ耕地移動ノ季節ニ依リ二期ニ分チ極力勵行セントス。前期、耕地轉讓移動ノ比較的少ナキ四月ヨリ九月頃迄ニ大地主及庄基本財産小作地ハ洩レナク、契約勵行ヲ斡旋ス。

後期、十月ヨリ三月迄ハ耕地移動ノ盛ナル季節ニシテ之ノ期ニ全力ヲ舉ケテ一般ノ小作地契約ヲ實施セシメントス。

三、小作紛争ノ協調

業佃兩者ノ融和ヲ助長シ、農民思想ヲ善導スルト共ニ書式契約ニヨリ紛争原因ヲ未然ニ防止スルハ最モ緊要ナルコトナルモ萬一之ガ發生ヲ見タル場合ハ紛争ノ大小ヲ問ハズ、迅速且ツ嚴正ニシテ公正ナル協調和解ヲサシメムトス。

四、愛佃施設實施獎勵

本會事業ノ趣旨ヲ理解セル、業主ノ協力ヲ得其ノ個人ヲシテ、農事改善ノ實ヲ舉ゲシムル爲メ種々ノ愛佃施設ヲ爲サシメムトス。

五、自作農創設

昭和七年度事業計畫、並ニ郡産業五ヶ年計畫ニ基キ本年度モ引續キ實施ス。

六、農事改良實行小組合ノ指導獎勵

州産業五ヶ年計畫ニ基キ、設立中ノ農事改良實行小組合ハ、本會員ヲ以テ組合員トナシ、且各庄業佃會指導監督下ニアルモノナレバ、本會ハ實行小組合ノ目的完成ヲ期スル爲メ郡職員及農會支會職員ト聯絡ヲ密ニシ専門的技術ノ指導ヲ受ケ確實ナル發達ヲ圖ラントス。

本實行小組合員ハ時代ノ趨勢ニ從ヒ、個人經營ヨリ團體經營ニ進ミツ、アルモノナレバ、之カ指導ノ完否ハ農業者ヲ以テ大部分ヲ占ムル、本郡下ノ如キニアリテハ直接庄或ハ郡勢ニ影響ヲ及ホス處尠カラス、依ツテ組合員統制ノ完璧ヲ期シ、農事改善施設ハ勿論經濟、教育、教化、衛生、宗教等ノ社會的諸事業ヲ漸進的ニ實行セシメムトス。尙ホ未ダ實行小組合ノ設立ヲ見サル地方ニハ該小組合ノ趣旨、事業等ヲ理解セシメ努メラ之カ組織ノ機運ヲ促進セムトス。

七、調査事項

A、小作料調査  
標準小作料ノ確立ハ小作關係ノ基礎ヲ成ヌモノナリ、殊ニ本郡ノ如ク農家戸口ニ對シ水田面積







ノ比較的少ナキ地方ニアリテハ、土地ノ需要供給ノミニ支配セラレ勝チニシテ小作料ハ次第ニ昇騰シ、小作人ノ苦痛ハ勿論業主ニアリテモ種々紛争ノ機ヲ作り或ハ第三者策動ノ過中ニ引込マレル等ノ危険尠カラサルヲ以テ標準小作料ノ基礎ヲ確立シ、小作紛争協調ノ資料ニ供スルト共ニ、業主ノ了解賛同ヲ得公正ナル小作料ノ下ニ公正ナル書式契約ヲナサントス。

B、小作地調査

本調査ハ小作地事情ヲ知り且ツ書式契約斡旋上ノ根源ヲ成スモノナレバ本調査ハ精確ニ實施シ以テ小作契約ノ遺漏ナキヲ期セントス。

C、實行小組員農業經營情況調査

農事改良實行小組合設立ト同時ニ、小組合員ノ農業經營情況ヲ調査シ後日實行小組合發達ノ具體的成績ヲ示ス基本トナサントス、本項ニ關シテハ爾後同一期間ニ同様ノ調査ヲ爲ス。

八、事務研究會

大湖郡業佃會聯合事務研究會々則ニヨリ實施ス。

## 二、各市街庄業佃會事業計畫



## 一、新竹市業佃會

本會ニ於ケル昭和八年度事業計畫ヲ記スルニ左ノ如シ。

### 一、小作契約締結ノ増進

新竹市ニ於ケル小作契約狀況ハ小作地面積一、九二六甲中、契約ヲ了シタルモ一〇〇甲餘ニシテ僅ニ五〇餘ニ過キズ、州下ノ平均三八%ニ比シ遙ニ低位ニアリ、素ヨリ之ニハ種々ノ原因アルベシト雖モ昭和八年度ヨリ實施スベキ産業五ヶ年計畫ノ成否ニ至大ノ影響ヲ及スモノナリ、サレバ其ノ根柢ヲ培フベキ耕地ノ長期小作契約ノ締結ヲ計ルハ急務トスル所ナリ。依ツテ昭和八年度ヨリ左記目標ヲ定メ本事業ノ促進ヲ計ラントス。

昭和八年目標小作契約面積六七八甲、割合三五、二三%増加豫定數小作契約面積五七八甲、割合三〇、〇〇%。

### 二、大地主懇談會

當市内ニ於ケル本事業ノ進展ヲ計ルニハ眞ニ大地主ノ自覺ニ俟ツモノ大ナリ、市内ニハ三十甲以上ノ大地主六一戸アリ、之等ヲ六組ニ分チ其ノ地方々々ノ主ナル大地主ノ宅ニ集メ新竹州下ニ於ケル斯業先覺者ノ最タルモノヲ招聘シ懇談會ヲ催シ小作契約締結ノ促進ヲ計ラントス。



イ、招聘者ノ人選 新竹州農會へ依頼  
 ロ、時 昭和八年十一月十日  
 ハ、日 六日 六日間  
 ニ、 昭七年度ヨリ始メテ任命シタル本會實行委員ハ、小作契約締結上漸次実績ヲ舉ケツ、アリト雖モ、尙事業遂行上指導ヲ要スルキ點多シ、本委員活動ノ如何ハ、実績ノ如何ニ影響スル所極ク大ナルヲ以テ本年度ニ於テ毎月二回各委員擔當區域ヲ巡視シ、指導ヲ行ヒ以テ実績ノ向上ヲ計ラントス。

三、實行委員ノ指導

昭七年度ヨリ始メテ任命シタル本會實行委員ハ、小作契約締結上漸次実績ヲ舉ケツ、アリト雖モ、尙事業遂行上指導ヲ要スルキ點多シ、本委員活動ノ如何ハ、実績ノ如何ニ影響スル所極ク大ナルヲ以テ本年度ニ於テ毎月二回各委員擔當區域ヲ巡視シ、指導ヲ行ヒ以テ実績ノ向上ヲ計ラントス。

四、小作改善事業功勞者表彰 本會事業ノ促進ニ盡力シ契約實行ニ對シ功勞顯著ナルト認ムルモノニ對シ、本會之ヲ表彰セントス。

五、視 察 從來本會ニ於テ、總代中適當ナルモノヲ選ビ臺南州下ノ先進地ヲ視察セシメ斯業獎勵上ノ參考ト

五、視 察

從來本會ニ於テ、總代中適當ナルモノヲ選ビ臺南州下ノ先進地ヲ視察セシメ斯業獎勵上ノ參考ト

シ、相當ノ効果ヲ齎シ居レリ。本年度ニ於テハ新竹州下ノ先進地ヲ選ビ親シク實狀ヲ視察研究セシメ、以テ本會事業ノ進展ヲ計ラントス。

イ、視察場所 新竹州下苗栗、中壢ノ各郡

ロ、時 昭和八年十二月中

ハ、補 助 會 員 一人當五圓内外

三、小 作 員 六人

二、舊 港 庄 業 佃 會

本庄業佃事業ハ地方ノ増進ト生産ノ増加ヲ期スルト共ニ地主ト小作人ノ親善融和ヲ圖リ眞ニ共存共榮ノ實ヲ舉ゲ兩者間ノ紛争ヲ未然ニ防止シ、以テ相互ノ福利ヲ増進セントスルモノニシテ、一之ガ爲メ從來ノ不良小作慣行ヲ改善スルコト先決事項ナルヲ看取シ之ニ對シ多大ノ努力ヲ拂フコト、シ、州農會及郡當局ノ指導援助ヲ仰キ以テ事業ノ達成ヲ圖ラントス。

一、精神訓練 産業開發ヲ企圖シ疲勞困憊セル農村ヲ救濟セントスルタメ農民ニ自力更生ノ精神ヲ涵養シ農閑期ヲ利用シ、會員ニ對シ講話會ヲ開催シ精神訓練ヲ行ヒ共存共榮隣保相助ノ美風ヲ養成シ併而農事



知識ノ普及ニ努メ以テ産業五ヶ年計畫ノ達成ニ努力セントス。

二、農事改良實行小組合設立及其ノ指導  
 從來農産増殖ニ關スル諸獎勵ハ州及農會ノ計畫ニ基キ主トシテ郡庄ガ直接農家ヲ相手トシテ指導  
 任ニ當リシモ此ノ間農家各戸間何等聯絡モナク又統制ヲモ有セザリシタメ不徹底ノ點多ク隨ツ  
 テ實績ノ完成ヲ期シ難ク農村振興ト支障尠カラサル憾アリ、故ニ本年度ヨリ産業五ヶ年計畫實施  
 セラレ、地方部落ニ於ケル中心人物ヲ主体トシ實行的小團體ヲ組織セシメ、農村第一線ニ立テ農  
 業經營ノ合理化ト農産増殖ノ實現ニ向ツテ邁進活動セシメントス。

本庄既設小組合十五ヶ所アリ、州農會部當局ヨリ聯絡ヲ取リテ彼等ヲ鞭撻シ其實施方法ノ指導ヲ  
 ナサントス。

三、小作契約締結ノ斡旋  
 本事業ハ本會加入會員ニ對シ、本會制定ノ契約書ニ基キ不良慣行ヲ匡正スル爲メ、左記ノ方法ニ  
 依リ契約締結ノ督勵ニ努メントス。

- 1、本會關係者並ニ役場吏員ヲシテ率先契約セシムルコト。
- 2、期日ヲ定メ實行委員ノ宅、又ハ部民ノ集合セル場所ニ係員ヲ出張セシメ契約ヲ爲サシムルコト。
- 3、地主、並ニ個人ヲ戸別訪問ニ依リ勸誘セシムルコト。
- 4、其他凡百ノ機會ヲ捕ヘテ不撓不屈ノ精神ヲ以テ締結ニ努ム。以上ニ依リ昭和七年度末ニ於ケル契  
 約件數ハ三六二件ニシテ其ノ面積約七三八甲步ナリ大体次々計畫ニ依リ契約ヲ斡旋セントス。

小作總面積	昭和七年三月末	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	計
	現在契約濟面積	契約豫定甲數	契約豫定甲數	契約豫定甲數	
	一五八	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一五八

四、農事紛争調停  
 紛争ノ原因ハ多ク收益ノ分配不公平ニヨリ年々其ノ件數ヲ増シツ、又及ハ遺憾ニ不堪、之ガ對策  
 對下シテ紛争ヲ未然ニ防止スルハ勿論一旦發生シタル場合ハ事件ノ大小ヲ問ハズ迅速丁寧ニ之ガ協  
 調ニ當リ兩者間ノ親善融和ヲ圖ラントス。

五、會員ニ對スル諸施設指導及獎勵  
 本會ハ契約濟ノ小作農並ニ加入會員ノ自作農ニシテ耕地面積一甲步以上ヲ有スルモノニ對シ左ノ  
 事項ヲ指導獎勵ス、其ノ方法ハ州農會ノ獎勵方針並ニ庄ノ獎勵規程ニ應シテ極力督勵ニ努メント  
 ス。

六、堆肥厩舎建設獎勵並ニ堆肥製造法指導  
 一〇〇棟

七、深耕型購入獎勵  
 四五挺







六、農民ノ智識ヲ啓發センガ爲メ、農閑期ヲ利用シ各小組合ノ幹部講習會ヲ開催セントス。

七、獎勵事業  
昭和八年度ハ左記事業ヲ指導獎勵ス。落葉林會、開墾會、小作米品評會、養蠶養繭品評會、耕種講習會、  
1、堆肥豚舎ノ建設獎勵並ニ堆肥製造ノ指導。

2、耕地防風林ノ設置獎勵。農家經濟調查會、養蠶養繭品評會、耕種講習會、  
3、深耕犁購入獎勵及使用方法ノ指導。其ノ自主自立ノ耕種ニ代ナルコト。

4、綠肥栽培獎勵。耕種講習會、養蠶養繭品評會、耕種講習會、  
八、各種研究調査。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
生産增收調査。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
農家經濟調査。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
小作料調査。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
農家基本調査。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
九、各農事改良實行小組合ノ指導獎勵

九、各農事改良實行小組合ノ指導獎勵

今年新々ニ設立セル農事改良實行小組合ニ對シ、左記ノ目標ヲ以テ之ヲ指導シ成績優良ノ組合ニ對シテハ補助金ヲ交付セントス。茲ニ其大要ヲ列シ、本年對シテ五箇ノ指導ノ旨ヲ開

1、組合是ヲ確立セシムルコト。小作米品評會、養蠶講習會、耕種講習會、  
2、組合員ノ教育ニカムルコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
3、共同的施設ヲナサシムルコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
イ、共同購入ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
ロ、共同販賣ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
ハ、共同利用ノ設備ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
ニ、共同作業ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
4、小作慣行改善ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
5、増産ノ開拓ヲナスコト。養蠶講習會、養蠶講習會、養蠶講習會、  
10、優良業佃及實行委員ノ表彰  
業主個人及實行委員ニシテ成績顯著特ニ、一般ノ範トナルヘキ者ニ對シ表彰ヲ爲シ以テ事業進行上ノ一助ニ資セントス。

二、事業觀察

代表的業主個人及實行委員ヲ選出シ業佃會ヲ一部經費ヲ補助シテ先進地ノ觀察ヲサシメント



三、會報ノ刊行

本事業ノ進展、業佃間之自覺、融和ヲ計リ一層之ガ徹底セシムル爲メ年ニ五回雜誌ヲ發行シ普ク業佃發育唱導ス。

四、湖口庄業佃會

一、業佃契約ノ締結斡旋

當庄農政上ノ痛タル小作慣行ノ不良ハ農業ノ振興ヲ阻害スルコト大ナルハ言フ俟タス、當會ハ昭和四年ヨリ斡旋シ來タリタルモ未ダ完成セス、本年ハ小組合設立ト共ニ組合員ニ左記面積ヲ目標トシ斡旋ヲナシ土地ノ改良並ニ生産ノ増加ニ努ム。

小作地面積	七年度未迄	完成豫定年度面積			計
	完成豫定面積	八年度	九年度	十年度	
二、八〇甲	一、五六二甲	六三三			二、二八〇甲

二、業佃ノ紛争協調

近來中途解約又ハ確地金等ヲ中心トシテ紛争發生スルコトアリ斯ル場合ハ事件ノ大小ヲ問ハス、

迅速町囀ニ協調ヲナシ平和ナル農村建設ニ努メントス。

三、實行小組合ノ指導

從來農産ノ改良増産ニ關スル諸獎勵ハ、州及農會ノ計畫ニ基キ主トシテ郡庄分直チニ多數農家ヲ相手トシテ之レガ指導ノ任ニ當リツ、アリテ、此間農家各戸間ニ於テ何レノ聯絡モナク又統制ヲ有セス、獎勵機關ノ不完備ガ臺灣農業ノ進歩ヲ遅ラシメタル一因ト思料ス。

内地ニ於ケル優良町村ハ農事實行小組合ノ活動ニ依ルヲ見ル、之小組合設立ヲ高調セラルル所ナリ、依ツテ本年三月十九日迄計一五個ヶ所ノ小組合ヲ設立シ、本年度ヨリ水田地帯ニ於テハ米種改良、深耕、堆肥ノ増産増施、合理的肥料ノ配合施用、增收試驗田ノ設置及之ガ競技等ヲ施行シ、一面畜産改良増殖ヲ併セテ指導セントス。山手方面茶葉地帯、林業地帯ニ於テハ、各地方ニ於ケル産業ニ鑑ミ、五ヶ年計畫ニ基キ小組合事業計畫ヲ樹立シ之ガ指導ニ全力ヲ傾注セントス。

四、堆肥豚舎建設獎勵

農家經濟ノ充實ヲ計ランニハ農産增收ノ根柢タル耕地ノ改良増進ヲ計ラサル可カラズ、而シテ耕地ノ改良ヲ期スルニハ最モ合理的且經濟的ナル堆肥ノ施用ヲ必要トス、依テ小組合員未建設者ニ對シ本年度ハ一棟ニ付キ五圓五〇錢ヲ補助シ一二九棟ノ建設ヲ増勵セントス。

五、深耕獎勵



- 五、肥料ノ増施ニ伴ヒ耕地ノ深耕ハ地力増進上極メテ重要ナルヲ以テ農會ノ獎勵ニ基キ一挺ニ付四圓補助シ、三〇挺ノ購入獎勵ヲ行フ。
- 六、耕地防風林ノ設置獎勵
- 七、水田綠肥栽培獎勵
- 八、農事講習會開催
- 九、事業視察

代表的業主個人、及無理解業主個人ニ對シ旅費ヲ補助シ、以テ先進地ノ實情ヲ視察セシメ其ノ自覺ヲ促サントス。

### 五、新埔庄業佃會

- 一、産業五ヶ年計畫ニ基キ庄内小作地契約締結實行ノ件
- 二、其ノ契約未済面積ノ中一、六二二甲ノ締結斡旋ヲ行ハントス。

庄下小作地總面積	契約済總面積	契約未済面積	昭和八年三月末日現在歩合
二、九二〇 <sub>甲</sub>	七二七 <sub>甲</sub>	二、一九三 <sub>甲</sub>	二四、九 <sub>%</sub>

### 二、事業ノ宣傳及實行

- 1、農事改良實行組合員ヲシテ實行セシメ又ハ主旨ヲ宣傳セシムルコト。
- 2、家長會保甲會議其他ノ集會ニ於テ業佃事業ヲ宣傳スルコト。
- 3、役職員囑託員及實行委員分擔區域ヲ定メ戸別訪問ヲ爲シ以テ契約締結ノ斡旋ヲ實行スルコト。
- 三、講習講習會開催



地方ニ適切ナル農事智識ヲ普及センカ爲農事講習會及講話會ヲ開催シ農事改良實行組合員又ハ地主個人ニ對シ講習講話ヲ行ヒ以テ農民ノ智識ヲ啓發シ農産ノ増殖ヲ期セシメトス。

四、契約獎勵  
小作契約締結斡旋ニ盡カシ本事業進展ニ功勞アリタル實行委員ニ對シテハ夫々業佃會ヨリ獎勵金ヲ交付セントス。

五、先進地視察  
業佃會ヨリ一部ノ經費ヲ補助シ、農事改良組合幹部及地主個人ヲシテ先進地ノ實況ヲ視察セシメ以テ其ノ自覺ト活動ヲ促進セントス。

六、優良業主個人及實行委員ノ表彰  
地主ニシテ能ク業佃會ノ主旨ニ依リ契約ヲ勵行シ小作慣行改善上ノ模範トナルヘキ者、及佃人ニシテ能ク土地ヲ改良シ生産物ノ品質向上ニ努メ收量増進ヲ計リタル者、並實行委員ニシテ小作契約締結ヲ斡旋シ功勞尠ナカラサル者ニ對シテハ夫々業佃會ヨリ表彰セントス。

七、堆肥豚舎建設普及  
農業經濟ノ充實ヲ計ランニハ、農産増殖ノ根本タル耕地改良ヲ計ラサル可ラス、而シテ耕地ノ改良及地力増進ヲ期スルニハ、最モ合理的ナル堆肥ノ施用必要ナルヲ以テ、産業五ヶ年計畫ニ依リ百

八十六棟ヲ速ニ建設セシメントス。  
八、深耕犁購入獎勵

農産物ノ收量増加ヲ圖ランカ爲メ、堆肥ノ増施ヲナスト共ニ、耕地ノ深耕ヲ實施スルハ緊要ナリ、現在産業五ヶ年計畫ニ基キ三十挺ヲ速ニ購入セシメントス。

### 六、關西庄業佃會

- 一、農事改良實小組合設立  
從來農業ノ改良發達ニ關スル獎勵施行ハ夫々當局ノ計畫方針ニ基キ實施シ來リ相當ノ成績ヲ舉ケツ、ナルモ各農家間ニ於テ聯絡統制ヲ欠キ不充分ノ點アリ、今内地ノ優良農村ト稱セラレ、モノヲ見ルニ、各部落ニ農事實行小組合設立セラレ之ガ活動ハ農村ノ中心ヲナスヲ以テ本組合ノ設置ハ最モ時勢ニ順應セル施設ナリ。
- 二、當庄モ昭和七年店子岡部落ニ於テ此種ノ組合ヲ設立シ相當ノ效果ヲ舉ケタリ、茲ニ於テ普及徹底ヲ期スベク庄内ニ二十二ノ小組合ヲ設立シタリ、依ツテ今後積極的指導獎勵ヲナシ以テ組合員ノ福利増進ヲ圖ラントス。
- 三、小作地契約完了豫定











- 4、契約締結済小作人指導
  - 契約締結済小作農ニ對シテ其ノ目標タル地力ノ増進生産ノ増加ニ向ヒ極力精耕懇培ノ域ニ誘導シ左記事項ヲ指導シ之カ目的ノ貫徹ニ努メントス。
    - (イ) 堆肥豚舎ノ建設獎勵、堆肥製造法ノ指導
    - (ロ) 深耕ノ獎勵
    - (ハ) 緑肥ノ栽培獎勵
    - (ニ) 耕地防風林ノ設置獎勵
- 一、農事改良實行小組合ノ指導
  - 從來農家各戸間ニ於テ何等ノ聯絡ナク又統制ヲモ有セザリシガ爲メ事業實行上不徹底ノ點多ク随ツテ實績ノ完成ヲ期シ難ク農村振興上支障尠ナヨリサル憾アリ、此ニ昭和七年度ヨリ各大字ニ於テ一小団体（實行小組合）ヲ設立シ左記事項ニ依リ所期ノ目的達成スル様指導セントス。
    - 1、組合發會式ト同時ニ二ヶ月毎週月火曜日ニ於テ農村教化夜學會開催。
    - 2、組合員ヲシテ全部産業組合ニ加入セシメ肥料共同購買ヲナサシム。
    - 3、小作慣行ノ改善
    - 4、種籾統一及米作改善
- 5、病害虫驅除豫防
- 6、畜産ノ改良及獎勵
- 7、種苗、肥料、農具其他必需品ノ共同購入
- 8、器具機械農業設備ノ共同利用
- 9、生活ノ改善
- 10、耕地防風林ノ設置獎勵

- 5、病害虫驅除豫防
- 6、畜産ノ改良及獎勵
- 7、種苗、肥料、農具其他必需品ノ共同購入
- 8、器具機械農業設備ノ共同利用
- 9、生活ノ改善
- 10、耕地防風林ノ設置獎勵

### 八、香山庄業佃會

一、書式契約斡旋  
 昭和七年度末ノ實績ヲ見ルニ當庄ニ於ケル小作地面積一、四五〇甲ニ對シ既契約地五九〇甲ニシテ其ノ歩合四〇・七%ナリ、惟フニ小作契約ノ締結ハ農村振興上最モ緊要ナル問題ニシテ且ツ本年度ハ産業五ヶ計畫ノ第一年目ナレバ一層努力ヲナシ締結歩合七〇%ニ達セシメントス。  
 書式契約締結計畫

字	名	小作總面積	前年度末迄契約完了面積	本年度中契約完了面積	本年度末迄完了豫定面積	摘	要
青	草湖	一三五六 <sup>甲</sup>	二四七三 <sup>甲</sup>	四〇 <sup>甲</sup>	六四七三 <sup>甲</sup>		



牛埔	香坑	香山	茄湖	南隘	鹽港	海山	香山	浸水	楊寮	虎子	計
一七五九	一五八〇	一五〇八三	一六四四七	一四一七五	六五四二	一二七一	一〇五三四	一二三三	一一〇八	一四〇〇〇	一、四〇〇〇
七三三七	五九二四	三六三五	五四二四〇	七九六七九	五二〇五三	七〇一五五	五二五二五	二四八四五	五三七二二	五九七七二	四〇〇
四〇〇	二〇〇	三五	三五	二〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇	三〇	四三〇	一、〇一〇〇〇〇
一一三三七	七三九二四	七三三五	八九二四七〇	九九六七九	六一〇五三	七二五二五	七二五二五	六四八四五	八七二二	一、〇一〇〇〇〇	

二、集會計書

1、本會主旨宣傳

年一回以上農閑期ヲ利用シ集團シタル部落ニ於テ活動寫眞ヲ映寫スルト共ニ本會ノ主旨及事業宣傳ヲナサントス。

2、懇談會開催

農閑期又ハ其他集會ヲ利用シ業主個人ヲ集メ農事改良ニ關スル講話ヲナシ併テ業仲間ノ親善

三、講習會開催

短時間ノ農事改良講習ヲ開催シ農民ノ智識向比ヲ圖ラントス。

四、業仲間並産業視察

篤農家ヲシテ先進地ノ産業視察ヲナサシメントス。

五、堆肥豚舍建設獎勵

獎勵棟數 一〇〇棟

六、深耕犁購入獎勵

獎勵挺數 四五挺

七、耕地防風林設置獎勵

獎勵米數 一一、〇〇〇米

八、農事改良實行小組指導

- 1、農事講習講話會開催
- 2、實地指導

九、中壠街業仲間會



一、小作契約完成

小作改善事業ノ基礎タル書式契約ノ締結完成ハ業佃兩者ノ親善融和ヲ俾クシ農業ノ發達ヲ促進シ農村ノ平和ヲ確保スル所以ナルヲ以テ産業五ヶ年計畫ノ實施第一年日ヨリ五ヶ年間ヲ畫シ左記豫定ニヨリ契約ノ完成ニ最善ノ努力ヲ拂ハントス。

地目	昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度		昭和十一年度		昭和十二年度	
	未契約完了見込面積	面積	未契約面積	面積	未契約面積	面積	未契約面積	面積	未契約面積	面積	未契約面積	面積
田	三、七三 <sup>甲</sup>	一、六五 <sup>甲</sup>	二、三六 <sup>甲</sup>	五、三四 <sup>甲</sup>	五、三四 <sup>甲</sup>	四、二七 <sup>甲</sup>	四、二七 <sup>甲</sup>	二、六二 <sup>甲</sup>	二、六二 <sup>甲</sup>	三、三八 <sup>甲</sup>	二、六二 <sup>甲</sup>	三、三八 <sup>甲</sup>
畑	六、五	二、一〇	四、〇五	一、〇一	一、〇一	八、二	八、二	四、一	四、一	四、〇五	四、一	四、〇五

二、愛佃施設獎勵

業主ノ多クハ出賤地ノ經營狀況ヲ巡視シテ之ガ改善ヲ指導スルガ如キ態度ニ出ヅルモノナク唯單ニ小作料ノ取立ヲ以テ能事トナシ耕地愛護等ノ施設ハ全ク閑却サレツ、アル現況ニ在ルハ農業ノ振興上甚ダ遺憾ナルヲ以テ管内業主ニシテ十甲歩以上耕地所有者ヲ督勵シ地力増進ニ關スル諸種ノ施設ヲ獎勵シ佃人ノ愛郷心ヲ誘發セシメ農村振興ニ資セントス。

三、優良業佃表彰

本會事業ヲ援助シ不真慣行ヲ改善シ一般業佃ノ範タルベキ者ヲ選抜シ表彰セントス。

四、業佃懇談會開催

從來ノ例ニヨリ開催ノ回数ヲ増シ本年度中四回以上農閑期ニ集會ヲ催シ本會ノ主旨ヲ徹底的ニ宣傳スルト共ニ協調懇談或ハ農産増殖上ノ講演ヲ爲シ以テ業佃兩者ノ智識ヲ啓發シ且ツ兩者間ノ關係ヲ一層親善融和ノ良風ヲ助長セントス。

五、業佃紛争調停

業佃間ノ紛争ヲ未然ニ防止スルハ本會ノ使命トスルモ萬一紛争惹起ノ場合ハ努メテ迅速ニ調停ノ勞ヲ執リ公正ニシテ圓滿ナル和解ノ成立ニ善處セントス。

六、業佃事業視察

從來ノ方針ニ依リ優良ナル業佃會員ヲシテ先進ノ業佃會ノ實況ヲ視察セシメ本會事業ノ進展ニ資セントス。

七、農事改良實行小組指導獎勵

本件ニ關スル指導獎勵ハ州ノ産業五ヶ年計畫ニ係ル農事實行小團體指導獎勵ノ方針ニ基キ先ヅ區域内各部落ニ於ケル中心人物ヲ主体トセル二十乃至三十戸程度ノ業佃會員タル農家ヲ糾合シ郷土愛ト共同的精神ニ基ケル強力ナル農事改良實行小組ヲ組織セシメ以テ農業經營ノ合理化ト農産増殖ニ關スル諸施設ノ實行ニ邁進セシムルコトハ最モ緊要ナリ、然シテ本區域内ニ於テハ昭和七



年中七ヶ所設置セラレタルモ尙未設ノ部落ニ對シテハ今後二ヶ年間ニ左記豫定表ニ依リ街役場當局ト連絡ヲ密ニシ極力其ノ設立完成ヲ促進セントス、尙既設組合ニ對シテハ萬全ナル指導ヲ爲シ直ニ農村發達ノ中堅團體トシテ縱横ニ活動セシメントス。

大字別	部落數	既設組合數	年次別豫定設立數		合計	摘要
			八年度	九年度		
後寮	—	—	—	—	—	
石頭	—	—	—	—	—	
中堀	三	—	—	—	三	
内堀	二	—	—	—	二	
水尾	—	—	—	—	—	
青埔	—	—	—	—	—	
興南	—	—	—	—	—	
三座	三	—	—	—	三	
芝里	—	—	—	—	—	
大治	二	—	—	—	二	
過溪	五	—	—	—	五	
計	三三	七	八	八	二六	
					三三	

八、以上各項以外ニ本事業遂行上必要ナル資料ノ調査並ニ研究ニ努力セントス其ノ主ナル事項左ノ如シ。

(一)、小作料ノ費途

- イ、租稅額
  - ロ、生活費
  - 一ハ、農事改良費(愛佃施設費)
  - ニ、農業以外ノ設費
  - ホ、浪費
  - ヘ、其他
- (二)、小作人ノ借金
- イ、農事資金
  - ロ、生活費
  - ハ、耕地改善費
  - ニ、農事以外ノ設費
  - ホ、其他



# 一〇、平鎮庄業佃會

## 要 旨

本會ハ本會所定ノ方針ニ基キ小作慣行ヲ改善シ農事改良ノ發達並ニ農村ノ平和ヲ確保シ以テ業佃相互ノ福利増進セント期ス。

### 一、事業ノ宣傳

本會事業主旨ノ宣傳ハ創立以來之ガ實行ニ努メタルヲ以テ相當ノ効果ヲ收得タリト雖モ之ガ徹底ヲ圖ル爲メ左記方法ニ依リ宣傳セントス。

#### (一)、各種集會ノ利用

- イ、保甲會議
- ロ、家長會議
- ハ、農事組合產業講話會
- ニ、部落的業佃懇會開催
- ホ、青年團集會等ノ利用

#### (二)、實行委員會開催

事業ノ成績向上ハ實行委員ノ活躍ニ俟ツモノ多シ故ニ實行委員ニ對シ事業趣旨内容ノ理解徹底ヲ期シ之等實行委員ヲ通シテ目的達成ヲ期スル爲メ實行委員會ヲ開催ス。

## 二、書式契約締結督勵

小作人ノ安定ヲ期シ本會所定ノ小作契約書式ニ依リ普遍的ニ契約ノ實行ヲ督勵スルハ勿論ナルモ特ニ本年度ハ産業五ヶ年計畫ニ則リ左記各項ニ依リ豫定目標ヲ定メ之ニ向ツテ最善ノ努力ヲ拂ハントス。

### A、管内地主ニ對スル督勵

庄内ニ於ケル地主ニ對シテハ常時巡回勸誘督勵スルハ勿論更ニ舊慣ニ係ル更新期ヲ中心トシテ各實行委員ト協力シ一層勸誘ニ努メントス。

### B、管外地主ニ對スル督勵

事業遂行上最モ困難ナルハ管外地主ニ對スル契約實行ナリ、殊ニ本庄ハ庄管外地主所有ノ土地ガ小作地ノ約五割ヲ占ムルノ現状ニアルヲ以テ、本年度ハ前年ニ引續キ關係市街庄ト尙一層緊密ナル連絡ヲ執リ事業ノ成績向上ヲ期セントス。

### C、官公署在職地主ニ對スル督勵

事業趣旨ニ對スル一般ノ範ヲ示サン爲メ本會役員ハ勿論庄協議會員區委員又ハ官公署ノ職員ニ



シテ末ダ契約ノ實行ヲ見ザル者ニ對シ第一着ニ本會所定ノ書式ニ依リ契約實行ヲ勸誘セントス。

三、業佃紛争調停

時勢ノ進運ニ伴ヒ業佃兩者ハ漸次思想的ニ惡化セントスル傾向ニアリ、自然事件ノ發生増加ヲ豫想セラル、モノアルヲ以テ之ガ防止ニ留意シ事件ノ處理ハ本會ノ主旨ニ則リ協調融和ニ努メ兩者ノ圓滿解決ヲ計ラントス。

四、愛佃施設獎勵

愛佃施設ノ普及ハ體テ業佃兩者ノ融和ヲ促進シ農村ノ平和ニ寄與スル所頗ル多ク將來ハ一層施設ヲ徹底セシムルト共ニ特ニ左記事業ニ對シテハ庄補助以外ニ業主ヲシテ佃人ニ補助獎勵ヲ爲サシムベク勸説セントス、之ガ施設ヲナシタル業主ニ對シテハ施設費ノ一部ヲ補助セントス。

A、堆肥豚舍建設獎勵

B、綠肥栽培獎勵

C、改良農具使用獎勵

D、靱乾燥場設置獎勵

五、業佃懇談會開催

農閑期ヲ利用シ業佃懇談會ヲ年二回部落的ニ開催シ業佃兩者ノ親善融和ヲ圖ルト共ニ事業ノ宣傳産業講和ヲ爲シ以テ農事智識ノ普及ニ努メントス。

六、業佃事業優良地方視察

業主佃人ヲ勸誘シ視察費ノ一部ヲ補助シ先進地方ヲ視察セシメ以テ業佃兩者ノ自覺ヲ促シ本事業ノ進捗ヲ期セントス。

七、表彰

本事業ノ圓滿ナル發達ヲ圖ル爲メ本會ニ於テ業績ノ特ニ顯著ナル者ト認メタル業主又ハ佃人等ニ對シテハ之ヲ庄長ニ報告シ表彰セントス。

八、經濟調査

小作改善上標準小作料ノ算出資料ヲ得ン爲メ管内代表的農家ヲ選定シ上中下別ニ基礎的經濟調査ヲ行ハントス。

九、農事改良實行組合ノ設立並ニ指導

農事改良農村ノ振興ハ農事團體ノ活躍ニ俟ツモノ多シ之ガ産業五ヶ年計畫ヲ基礎トシ部落的ニ農事改良實行組合ヲ設立シ産業各般ノ獎勵事業ハ總テ本團體ヲ中心ニ指導セントス。

一〇、篤農家ノ養成



篤農家ヲ養成シ農事改良ノ促進ヲ期セントス。

### 一、楊梅庄業 佃會

一、小作地面積ニ對スル書式契約  
 當庄ノ耕地面積ハ田三、九四九甲畑二、一七八甲ニシテ内小作地面積ハ田二、三五六甲、畑四五五甲歩ナリ、之ノ内本會ニ於テ斡旋シタル面積ハ田一、二〇一甲(五一%)畑二五四甲(五七%)ニシテ、本年度ヨリ産業五ヶ年計畫ノ方針ニ基キ左表ニ依リ書式契約ノ完成ニ努力セントス。

契約完成計畫表

1、田		2、畑	
小作地面積	八年二月末現在 契約完了面積	未契約地面積	五ヶ年間一ヶ年分平均面積
二、三五六甲	一、二〇一甲	一、一五四甲	一、二〇一甲
小作地面積	八年二月末現在 契約完了面積	未契約地面積	五ヶ年間一ヶ年分平均面積
四、四五甲	二、五四甲	一九一甲	三、八甲
			一ヶ月分豫定完成面積
			一九一甲

## 二、愛佃施設指導

### 六1、深耕實施獎勵

一、深耕犁購入者ニ其ノ購入費トシテ庄費ノ補助ヲ爲シ尙耕入者ニ對シ犁耕技術ノ指導並ニ深耕ノ實際的効果ヲ自覺セシメントス。

### 2、堆肥豚舍建設及堆肥品評會開催

小作人ニシテ未タ堆肥豚舍ヲ建設セサルモノニ對シ庄補助以外ニ業主ヲシテ物質的援助ヲ爲サシム、而シテ該建設者ニ對シテ八年ニ二回ニ互リ堆肥製造品評會ヲ開催シ量及質ヲ審査シ成績優良ナル者ヲ褒賞セントス。

### 3、優良品種ノ蕃殖配給並ニ採種田圃ノ設置耕種法其ノ他一般農業者ニ經驗ヲ有スルモノヲ選抜シ

之レニ採種田ヲ經營セシメ優良品種ノ蕃殖ヲ圖リ一般ニ交換配付シ以テ産米改良普及ニ資ス。

### 4、密植勵行普及

土質品種施肥量多少等ニ依リ之ヲ限定シ難キモ多收穫ヲ舉ケンニハ適當ナル密植ヲ必要トス、即チ第一期作ハ坪六十四株ヨリ七十四株第二期作ハ五十六株ヨリ六十四株ヲ適當トス、而シテ苗本數ハ植付ノ疎密ニ依リ増減スルモ普通八九本ヨリ十二三本ヲ適度トシ之ヲ廣ク小作人ニ勵



行セシメムトス。

5、綠肥栽培勵行

庄内土質ハ概シテ有機質ニ乏シキ粘質ナル酸性土壤ナルヲ以テ土性改良ハ重要條件ナリ故ニ第二期作收穫ノ跡地ニハ廣ク綠肥ヲ栽培シ有機質ヲ加用シ以テ地力ヲ増進セシメントス。

三、農事實行組合指導

各組合毎ニ組合員ヲ集合シ農事講話會ヲ開催シ以テ農家經濟生活改善並ニ農業上ニ於ケル科學的智識普及其他農村又ハ農家トシテノ道德的精神ノ涵養ニ關シ充分ナル指導ヲ加ヘ平和的理想郷ノ建設ニ努力セントス。

四、業佃懇談會

本會ノ主旨ヲ徹底的ニ理解セシムルト共ニ業主個人ヲ適宜ノ場所ニ招集シ農事改良ノ智識ヲ授ケ、小作慣行ノ改善ト耕種法ノ革新ヲ高唱勵行セシムルト共ニ書面契約ヲ勸誘セントス。

五、郡聯合業佃會トノ連絡

事業進行上常ニ郡聯合業佃會ト連絡ヲ保チ指導援助ヲ受ケ以テ違算ナキヲ期ス。

六、農家經濟調査

各階級ニヨリ代表的農家上中下別ニツキ農家ノ經濟狀態ヲ調査シ事業進行上ノ資ニ供セントス。

一一、新屋庄業佃會

八、新屋庄業佃會

一、小作契約完了共ニ之ヲ圓滿ナク終結セシムルニ努ム

昭和八年度中小作地四八〇甲歩契約實行方法ヲ樹立シ今後五ヶ年以内ニ小作地全部ノ契約ヲ完了

二、未加入業佃會員勸誘

業佃會員未加入者ニ對シテハ一覽表ヲ作製シ、業佃懇談會開催ノ際或ハ適當ノ機會アル毎ニ勸誘加入セシメムトス。

三、優良業佃會及農事視察

業佃會員中適當ナル人物ヲ選定シ補助金ヲ與ヘ、先進優良業佃會及農事ノ實況ヲ視察セシメ以テ本會事業ノ促進ニ資セントス。

四、優良業佃會員ノ表彰

本會ノ主旨ニ副ヒ特ニ一般ノ模範トナル可キ業佃ヲ選出シ適當ノ時期ニ表彰ヲ行ハントス。

五、業佃懇談會開催

適當ノ時期ニ業佃ヲ召集シ、本事業ノ主旨ヲ徹底セシムルト共ニ各業佃ノ意向ヲ聴取以テ本事業



ノ圓滑ナル發達ニ資セントス、而シテ其ノ開催豫定左ノ如シ

月	場	所	見込會衆數	月	場	所	見込會衆數
五月	九斗	廟	一五〇	十月	九斗	廟	一五〇
全	新屋	公學校	三〇〇	全	新屋	公學校	三〇〇
全	埃頭厩	公學校	三五〇	全	埃頭厩	公學校	三五〇
全	大坡	公學校	二五〇	全	大坡	公學校	二五〇

六、愛佃施設

業主ヲシテ佃人ノ事業ヲ援助セシメ之ヲ合理的經營ニ導カシムルハ兩者ノ親善融和ヲ促進シ福利ノ増進ヲ期スル所以ナルヲ以テ愛佃施設トシテ小作米品評會又ハ立毛現地品評會、佃人慰安會、綠肥競作會等ノ施設ヲナサシメ以テ農村ノ振興及平和ヲ保全セントス。

七、農事實行組合設立獎勵

業佃兩者ノ關係ヲ一層緊密ナラシメ爲メ、産業五ヶ年計畫ニ基キ實行小組合ノ設立ヲ促進セシメ既設組合ト共ニ之ガ順調ナル發達ヲ遂ゲシムベク指導セントス。

八、篤農家養成

篤農ヲ養成シ一般ノ模範トナラシメ以テ農村ノ振興ヲ圖ラントス。

九、小作紛爭調停

小作事情ニ就テハ常ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ、事件ノ發生ヲ未然ニ防止シ事業ノ主旨ニ基キ所謂農村ノ平和ヲ圖ルハ勿論ナルモ時ニ業佃兩者ノ紛爭ヲ生シタル場合ハ其ノ實況ヲ探究シ慣行實例等ヲ參酌シ極メテ迅速且ツ公平ニ調停ヲ行ヒ以テ兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

一三、觀音庄業佃會

一、小作契約締結督勵

各關係役職員及實行委員ト相協力シテ未契約ノ地主小作人兩者ヲ各戸訪問シ長期小作契約締結ノ勸誘又ハ契約ノ更新ノ督勵ニ努メントス、本年度豫定(締結)左ノ如シ。

管内 四〇甲

管外 七〇甲

六件



計 一一〇甲 二八件

二、懇談會ノ開催

事業ノ遂行上農閑期ヲ利用シ業佃兩者ノ親善融和協調ノ徹底ヲ圖ランガ爲メ各部落毎ニ地主小作人懇談會ヲ開催シ本事業ノ主旨並ニ農事智識ノ普及ヲ計リ以テ目的ノ達成ニ努メントス、開催豫定期左ノ如シ。

第一期 六月中 九ヶ所 第二期 十月中 九ヶ所

三、愛佃施設獎勵

事業ノ實績ハ逐年向上シツ、アルモ之ニ伴フ地主對小作人ノ愛護施設尙ホ全カラサルハ遺憾トス、仍テ該事業ニ最モ理解アル地主ニ對シ愛佃施設ヲ獎勵シ以テ兩者ノ親善融和ヲ促進セントス。

四、小作慣行改善事業功勞者ノ表彰

會員中特ニ一般業佃間ニ模範タル可キ者ヲ拔選シ表彰セントス。

五、小作紛争調停

小作紛争ヲ未然ニ防止シ其ノ親善融和ヲ圖リ、萬一紛争發生ニ際シテハ之ガ圓滿協調ニ努メ以テ農村ノ平和ヲ永遠ニ保全セントス。

六、小作料ニ關スル調査研究

前年度ニ繼續シ調査研究ニ努メ調停ノ資ニ供セントス。

七、事業視察

會員中適當ナル者ヲ選抜シ先進優良業佃會ノ實況ヲ視察セシメ本事業ノ促進ニ資セントス。

八、農事改良實行小組合ノ増設並ニ指導

産業五ヶ年計畫ニ基キ此種團體ノ増設ニ努メ之ガ圓滿ナル發達ヲ遂ケシムベク庄關係者ト提携シ積極的指導ヲ爲サントス。

一四、桃園街業佃會

第一、實務

一、書式契約

(イ) 係員ハ常ニ未締結ノ業佃ヲ訪問シ書式契約締結勸誘ニ努ム。

(ロ) 締結進行方法ハ街役場職員ヨリ實行シ漸次本會總代區委員ニ及ヒ而シテ一般ニ及ブ豫定ナリ。

(ハ) 前二項ノ方法ニテ勸誘シ一ヶ月間ノ豫定日數ハ五日以上トシ其ノ豫定件數面積左ノ如シ。



新契約締結豫定件數

田 六〇件

一七三甲

更新契約豫定件數

田 五〇件

2、小作年限延長

最少年限ヲ五ケ年トシ業佃相互ノ協定ニテ可成年限ノ長キコトヲ期スベシ、其勸誘方法ハ大量生産ノ要素即チ長期間ノ耕作深耕施肥等ノ實例ヲ示ス。

3、農事紛争ノ協調

常ニ事件ノ發生ヲ防止スルハ勿論細心ノ注意ヲ拂ヒ事件發生ノ場合ハ業佃双方ヲ集メ事實ノ調査ヲ爲シ迅速且ツ溫情ヲ以テ圓滿解決ニ努メ輕易ナルモノハ會長ニ於テ調停シ、重要ナルモノハ調停委員會ニ附ス。

4、會員加入勸誘

未加入者ヲ勸誘シ区域内業佃自作者等ヲ網羅シ其ノ豫定人員ハ八十名ナリ。

此勸誘ハ書式契約締結勸誘ト共ニ行フ。

第二、調査

1、土地經濟調査

2、農家經濟調査

第三、獎勵及指導

1、防風林設置獎勵

2、自給肥料製造獎勵

3、養豚獎勵

4、米種改良獎勵

5、深耕獎勵

6、優良地主小作者表彰

区域内ニ於ケル模範業主、小作人ヲ表彰シ一般ノ模範ト爲ス其數ハ各一名宛ナリ、選定方法ハ別ニ定ム。

7、農事改良實行小組合指導

区域内ニ二十四ヶ所ノ實行小組合ヲ毎月各一回以上組合ニ臨ミ指導ヲ爲ス。

第四、業佃融和

1、會員ヲ集メ郡及農會技術員又ハ有志者ヲ招聘シ有益ナル講話ヲ爲シ會員ノ智識ヲ啓發シ以テ農



事改良ニ努ム。其ノ豫定面數場所及聽講人員左ノ如シ

場	所	開	催	回	數	人	員	摘	要
實行	小組合事務所				10		1,000人	農談會	
又ハ	其他適宜場所								

- 2、農民教養及中心人物養成  
常ニ農事ニ關スル智識思想等ノ善導ニ努メ將來農村中心人物トナルヘキ青年ヲ約二十名一週間位ノ豫定ヲ以テ八月中ニ講習會ヲ開催シ、農民ノ教養中心人物ノ養成ニ努メントス。
- 3、農事視察  
先進地視察ヲ行ヒ農事改良ニ努メサセ一般ヲシテ之ニ倣ハシメトス。
- 4、業主懇談會開催  
適宜ナル時期ニ於テ業主懇談會ヲ開催ス。

### 一五、芦竹庄業佃會

#### 第十八、實務

##### 一、書式契約

契約締結見込豫定件數四〇件面積一七五甲更新二〇件面積六〇甲其ノ督勵勸誘方法左ノ如シ。

- イ、係員ハ豫メ勸誘計畫ヲ立テ、戸別訪問ヲナシ中秋更新期ヲ目標ニ書式契約締結ノ促進向上ニ努ム。
- ロ、農閑期ヲ利用シ、農事改良實行小組合既設部落ニ於テハ組合員ヲ中心トシテ活動セシメ、未設部落ニ於テハ懇談會ヲ開催スル外保甲會議家長會ノ席上ニ於テ業佃會ノ主旨使命ノ徹底ヲ期シ以テ促進ニ努ム。

ハ、管外地主ニ對シテハ書面又ハ係員ヲ出張セシメ、本會ノ主旨使命ヲ宣傳シ事業ノ促進ヲ期ス。

二、契約期間延長  
最長五ケ年トシ地力増進耕地改良ノ方策ヲ實際ニ會得セシメ、可成長期間ニ努ム。

三、契約更新  
契約期間滿了期ヲ調査シ、該期間到來ノ者ニ對シテハ直ニ更新ノ手續ヲ勵行スルト共ニ佃人交代ノ防止ニ努メ、愛地心ノ喚起並郷土愛ノ涵養ニ資シ、以テ健實ナル農村振興ノ基礎ヲ確立セントス。

##### 四、農事紛争調停



紛争事件突發毎ニ業佃双方ノ意見ヲ徹シ審議ヲ爲シ輕易ナルモノハ會長ニ、重要ナルモノハ調停委員會ニ附ス。

五、會員加入勸誘

各種ノ機會ヲ利用シ新會員ノ加入ヲ勸誘セントス。

第二、業佃融和

農閑期ヲ利用シ、業佃會員ヲ召集シ座談會ヲ開キ以テ双方ノ意志ヲ疎通セシメ、本會ノ機能ヲ徹底的ニ發揚スルト、同時ニ業佃兩者ノ融和ヲ圖ラントス。尙農事改良實行小組合未設置部落ニ對シテハ設立ヲ獎勵スルト共ニ適當ナル部落ニ於テ開催セントス、開催時期左ノ如シ。

1、五月中旬

2、九月下旬

第三、獎勵及指導

一、講習會開催

農閑期ヲ利用シ講師ヲ招聘シ、講習會ヲ開キ以テ農村教化ニ資セントス。

A、農事改良實行小組合幹部講習會

1、會場、芦竹庄會議室

2、會期、八月中旬三日間

3、講習生員數 二十四名

4、講習科目

(イ) 小組合ノ使命

(ロ) 小作慣行改善事業ニ關スル事項

(ハ) 米作改良ニ關スル智識技能

(ニ) 養豚ニ關スル智識技能

(ホ) 其他必要ト認ムル科目

B、篤農家養成講話會

1、會場、芦竹庄會議室

2、期日、九月上旬一日間

3、篤農家員數 二十名

4、講話題目

イ、農事改良實行小組合ノ設立ト農民ノ自覺ニ就テ。



ロ、業佃會ノ主旨使命ト農村振興ニ就テ。  
ハ、其他必要ト認ムル事項

二、農事視察

農事改良實行小組合員又ハ業佃會員ヲシテ、優良先進地ヲ見學セシメ以テ優良篤農家並ニ模範業佃ヲ養成セントス。

第四、調査

一、土地經濟調査

イ、個人ニ對スル土地經營經濟調査ノ一

等級	甲當平均收量		甲當平均小作料		差引利得額		摘要
	一期	二期	數量	金額	數量	金額	
平均							
下							
中							
上							

ロ、個人ニ對スル土地經營經濟調査ノ二

等級	甲當肥料代		甲當種子代		甲當田植工賃		甲當除草工賃		甲當稻刈工賃		計	利得額	利差	益引
	品名	數量	金額	種類	數量	金額	日數	金額	日數	金額				
平均														
下														
中														
上														

ハ、地主ニ對スル土地ノ負擔經濟調査(甲當)

等級	水		租		地		租		土地整理		計		小作		摘要
	普通組合費	第一組合費	地租	全附加稅	地租割	組合費	農會費	料金	利差	利差	利益				
平均															
下															
中															
上															

備考

一、當會管内ニ於ケル一般小作人ニ對シ其ノ經營ニ對スル經濟ヲ調査シ三等級ニ分チ本表ニ記入セントス。



2、當會管内ニ於ケル一般地主ニ對シ其所有セル土地ノ負擔ヲ調査シ三等級ニ分チ本表ニ記入セ  
ントス。内ニ係ル小作人ニ對シ其ノ負擔ニ關シテ三等級ニ分チ本表ニ記入  
ス。

不良小作慣行ヲ矯正センガ爲メ參考トナルヘキ材料蒐集シテ調査セントス。

### 一六、大園庄業佃會

#### 一、書式契約締結

1、區域ヲ分チ各總代ニ分擔勸誘セシム。

2、書記ヲシテ絶ヘズ戸別訪問ヲナサシメ書式契約締結ヲ爲ス。

3、小作契約年限延長

最小年限五ヶ年トシ業佃相互ノ協議ニテ可成年限ノ延長ヲ期ス。

4、豫定件數及面積

面積	昭和八年度	設立當時ヨリ 昭和八年度迄	摘
	六〇 <sup>甲</sup>	二、六九 <sup>二</sup>	要

件數	100 <sup>甲</sup>	六三 <sup>三</sup>
總出賈甲數 ニ對スル割合	二〇%	四三%

#### 二、農事紛爭調停

事件ノ突發セル度毎ニ書記ヲシテ其ノ事實ヲ調査セシメ、紛爭關係者ヲ呼出シ輕度ノモノハ會長  
ニ於テ之ヲ調停シ重要ナルモノハ調停委員會ニ附ス。

#### 三、會員加入勸誘

努メテ機會ヲ利用シ新會員ヲ募集ス。

#### 四、視察

會員ヲ勸誘シテ費用ノ一部ヲ補助シ優良業佃事業施設ヲ視察セシム、視察人員五名、視察豫定地  
左ノ如シ。

日	程	發	地	視	察	地	宿	泊	地	視	察	事	項
第一日	桃	園	苗	栗	郡	臺	中			優良業佃事業施設並農事 試驗場			
第二日	臺	中	員	林	郡	嘉	義	全					



第三日	嘉義	新營	麻豆	全
第四日	麻豆	台南	桃園	全

五、農事改良實行小組指導ニ關スル事項

經費ノ關係上本項ハ庄ト連絡シテ實行スルモノニシテ即チ本會ニ於テハ單ニ指導ヲ爲シ補助ハ庄ヨリ仰グ。

一、産米改良ニ關スル事項

二、畜産改良ニ關スル事項

三、其他

1、改良農具ノ使用ヲナスコト

2、堆肥豚舍ノ建設ヲナスコト

3、耕地防風林設置ヲナスコト

前項ノ指導機關トシテ農事改善講習會及農事講話會ヲ開キ相互ノ智識啓發ニ努ム。

六、農事改善講習會

農家子弟一〇名以上ヲ募集シ、農家ニ必要ナル知識ヲ授クル爲メ講習會ヲ開催ス。日數五日間ノ

豫定ナリ。

開催日割

十一月十三日 開會式

十一月十四日 農事改良實行小組合ニ就テ

十一月十五日 産業組合ニ就テ

十一月十六日 優良業佃事業施設實地見學

十一月十七日 閉會式

七、活動寫眞映寫

會員ノ親善融和ト智識ノ向上ヲ圖ル爲メ農閑期ヲ利用シ農事改良ニ關スルフキルムヲ映寫セシム。

活動寫眞映寫日割及豫定地

開催回数	日數	豫定地	摘要
二回	八日	大園、許厝港、圳股頭、沙崙、竹圍、埔心、五塊厝、双溪口	

八、農事講話會



農閑期ヲ利用シ部落座談會ヲ開キ會員相互ノ福利増進、親善融和ヲ目的トシ、郡聯合業佃會並ニ農會技術員又ハ篤農家等ヲ招聘シ有益ナル講話ヲ爲シ農事發達ヲ期ス、開催日割及豫定地

開催回数	日數	豫定地	摘要
二回	五日	大園、許厝地、竹園、埔心、双溪口	

### 一七、龜山庄業佃會

#### 第一、實務

- 1、書式契約締結効誘
  - (イ) 本年度契約締結見込豫定件數及其ノ面積新ニ締結セルモノ一二〇件、田二〇〇甲畑二五〇甲更新セルモノ五〇件、田七〇甲畑四〇甲其ノ締結進行方法左ノ如シ。
  - (ロ) 區域ヲ分チ農事改良實行小組合長ニ分擔効誘セシメ、各區日割ヲ定メ總代宅ニ區内ノ各業佃ヲ集メ書式契約締結ヲ實施セシム。
  - (ハ) 係員ハ常ニ未締結者ヲ調査シ區域内ノ業主ヲ絶ヘズ戸別訪問シ、管外ノ業主ハ當該他街庄業佃會ニ効誘方ヲ依頼シ、又ハ書面ヲ以テ或ハ直接効誘シ契約完成ニ努ラス。

(ハ) 保甲會議及諸會合ヲ利用シ、本會ノ主旨ヲ徹底的ニ宣傳シ業主ノ覺醒ト佃人ノ自覺トヲ促シ書式契約締結實行ヲ促進セシム。

#### 2、小作契約年限延長

最短年限ヲ五ヶ年トシ、ナルベク年限ヲ延長セシム。

#### 3、農事紛争調停

業佃間ノ紛争ヲ聞及又ハ其申出アリタルトキハ、双方ヲ集メ事實ヲ調査シ迅速且ツ温情ヲ以テ圓滿解決ニ努メ複雑ナルモノハ調停委員會ヲ附ス。

#### 4、實地測量

平板測量器ヲ設備シ本事業進捗上必要ナル場合ニ之ヲ利用ス。

#### 5、會員加入勸誘

努メラ機會ヲ利用シテ新會員ヲ募集シス。

#### 第二、調査

土地經濟調査 土地經濟調査員各一員以上を組合、調査員を派遣して調査を遂行す。庄下ニ於ケル小作事情及一般農家ノ經濟調査ヲ爲ス。

#### 第三、獎勵及指導



1、農事改良實行小組普及指導

各部落ニ居住スル業佃會員ニシテ二十名乃至三十名以内ヲ糾合シ、郷土愛ト共同精神ニ基キ堅固ナル小団体ヲ組織シ毎月各一回以上各組合ニ臨ミ左記事項ニ付キ指導ヲ爲ス。

- (イ) 米作改良ニ關スル事項
- (ロ) 茶業改良ニ關スル事項
- (ハ) 園藝改良ニ關スル事項
- (ニ) 肥料改良ニ關スル事項
- (ホ) 造林改良ニ關スル事項
- (ヘ) 病虫害驅除ニ關スル事項
- (ト) 畜産改良ニ關スル事項
- (チ) 共同購買販賣及利用ニ關スル事項
- (リ) 其他目的達成ニ必要ナル事項

2、篤農家養成

會員ニ範ヲ示スタメ、篤農家ヲ養成シ、優良農耕用具購入費ノ一部ヲ補助シ一般會員ヲシテ之レニ倣ハシメントス。

第四、業佃融和

1、農事講話會開催

農閑期ヲ利用シ會員ヲ集メ郡及農會技術員又ハ篤農家等ヲ招聘シ有益ナル講話會ヲ開キ、業佃融和ノ智識ヲ啓發シ農事改善ニ努力ス。

2、活動寫真ノ映寫

農事改良ニ關スル「フィルム」ヲ借用シ巡廻映寫ヲ爲シ業佃融和ヲ圖リ兼ネテ農事智識ノ涵養ニ資ス。

3、農事視察

會員ヲ勸誘シ希望者ニ對シテハ旅費ノ一部ヲ補助シ、団体ニテ優良先進農村ヲ見學セシメントス。

一八、八塊庄業佃會

第一、實務

1、書式契約

(イ) 係員ガ總代ト協力シテ勸誘スルコトハ勿論區民ノ信頼アル區勸業委員ヲシテ、勸誘ニ活動セ



- シメ其ノ成績ニヨリテ年末ニ慰勞金ヲ以テ其ノ勞ニ酬ユ。
- (ロ) 未締結會員ヲ調査シ豫定計畫ヲ立テ、會長副會長ト協力シ區域内ノ業主ハ、勿論區域外ノ業主迄モ戸別訪問ヲナシ書式契約締結完成ニ努ム。
- (ハ) 書式契約締結豫定件數及其面積

契約完結豫定件數	全上面積	契約更新豫定件數	全上面積
畑 田	七八件 田	畑 田	二五件 田
一〇甲	一五七甲	五件 畑	五〇甲
一〇甲	三八甲	一〇甲	一〇甲

- 2、小作契約期間延長  
最短年限ヲ五ケ年トシ、業佃相互ノ協議ニテナルベク年限ノ長キコトヲ勸誘ス。
- 3、農事紛争ニ關スル協調和解  
常ニ事件ノ起ラザル様ニ注意スルハ勿論敏速ニ事件ヲ探知シ突發セル場合ハ公正且ツ迅速ニ協調ヲ計リ更ニ進ンデ兩者ノ親善融和ヲ期セントス。
- 4、會員加入勸誘  
未加入者ヲ勸誘シ區域内ノ業佃ヲ普ク網羅ス、其ノ豫定加入數五〇名ナリ。

第二、調査

- 1、土地經濟調査  
庄管内ノ耕地經濟調査ヲナス。
- 2、農家經濟調査  
庄管内ノ農家經濟調査ヲナス。
- 第三、獎勵及指導
  - 1、防風林設置指導  
耕作地ノ周圍ニ防風林設置ノ指導ヲナス。
  - 2、自給肥料製造指導  
農會並庄ト連絡ヲ取り自給肥料製造ノ指導ヲナス。
  - 3、空地利用獎勵及耕地整理指導  
庄ヨリ苗木類等ノ配布ヲ受ケ無償ニテ會員ニ分配シテ植付セシムルノ外耕地整理ノ指導ヲナス。
  - 4、集約農業經營ノ督勵指導  
農會ト連絡ヲ取り、優良品種ノ選擇綠肥ノ栽培、深耕獎勵施設ノ方法等合理的技術ノ獎勵ト其



ノ徹底ヲ期センガ爲メ實地ニ之等ノ指導ニ當ラントス。

5、優良地主小作人調査  
業主個人ノ業績ヲ調査シ模範タルベキモノハ之ヲ表彰シ以テ一般ヲシテ之レニ倣ハシメントス。

6、篤農家養成  
一般ノ模範トナルヘキ篤農家ヲ養成セんとス。

7、農事改良實行小組合ノ指導  
庄内ニ設置シタル農事改良實行小組合ニ對シ其健全ナル發達ヲ計ル爲メ極力指導援助ヲナス。

8、短期農事講習會開催  
農閑期ヲ利用シ講師ヲ招聘シテ、庄内農事改良實行小組合ノ幹部及組合員ヲ集メ、短期農事講習會ヲ開キ以テ産業五ヶ年計畫ニ基キタル農事改良發達ヲ圖ラントス。

但シ會期ハ一週間トス。

第四、業佃融和  
1、農事講話會開催  
農閑期ヲ利用シ會員ヲ集メ郡並ニ農會技術員又ハ篤農家ヲ招聘シ、有益ナル講話ヲ聞カシメ會

員ノ智識ヲ啓發シ農事改良ニ努力ス。  
豫定開催回数及聽講人員左ノ如シ。

場	所	開催回数	聽講人員	摘	要
各勸業委員ノ宅		一二回	六〇〇名	庄ト連絡ヲ取リテ實施ス	

2、活動寫真映寫  
農村娛樂機關トシテ農閑期ニ活動寫真ヲ映寫シテ觀覽セシメ、間接的ニ農事改良ノ進歩ヲ圖ラントス。

3、農事視察  
優良業主ヲシテ先進地ヲ視察セシメ以テ農事改良ニ努メサセ一般業佃ヲシテコレニ倣ハシメントス。

### 一九、大溪街業佃會

#### 事業經營方法

小作慣行改善ヲナシ、農産物増殖ノ基礎ヲ強固ニシ農村平和ノ維持増進ノ實ヲ舉ゲ、以テ本會設立



主旨目的ヲ徹底セシムル爲メ左記事業ヲ經營セントス。  
一、主旨ノ宣傳

本會ノ主旨ヲ徹底セシムル爲メ左記方法ニ依リ主旨ノ宣傳ヲ實行セントス。

イ、家長會又ハ保甲會議其ノ他種々ノ會合ヲ利用シ宣傳講話ヲ爲シ以テ一般ノ理解ヲ促サントス。

ロ、一二期作收穫後ノ農閑期及曠耕契約更新期前ニ於テ、管内各部落ヲ適當ニ區分シ小作慣行改善

講話會ヲ開催シ主旨宣傳ニ努メントス。

ハ、適當ナル時期ニ於テ本事業進捗上有効ナル宣傳ビラ又ハ管内事業狀況ヲ印刷配付シ以テ主旨ノ

普及ヲ徹底セントス。

二、會員加入勸誘

會員ノ加入數ハ今ノ處尙ホ半數ニ足ラス依テ今後ハ右ノ未加入者ニ對シ昭和八年度ヨリ向フ三ヶ

年間ニテ全部加入出來得ル様左記方法ニ依リ勸誘セントス。

イ、會員未加入一覽表ヲ作製シ毎年戶稅調査ノ機會ヲ利用シテ全部會員トシテ加入セシムベク努メ

ントス。

ロ、右ノ勸誘ニ依リ尙ホ未加入者アル場合ハ、農事實行小組合ノ活動ニ依リ目的達成ニ努メントス。

昭和八年度勸誘豫定表左ノ如シ。

業佃關係總人員	昭和八年二月末 日現在加入數	差引未加入數	昭和八年度 加入豫定數	摘	要
二、七六六	一、三〇七	一、四七九	四四四		

三、小作契約締結斡旋

管内小作地面積並小作件數ニ對スル締結割合ハ僅カ四・九〇ペルセントニシテ之ニ對シ今後一

層努力シ五ヶ年計畫ヲ以テ全部締結ノ出來得ル様左記方法ニ依リ勸誘斡旋ニ努メントス。

イ、管内業主勸誘

街ニ備付アル小作臺帳ニ基キ、未契約業主並個人一覽表ヲ作製シ業佃懇談ノ下ニ各人ノ意見並

業佃關係ノ内容ヲ聽取シ、其ノ實況ニ對シ適宜ノ場所或ハ戶別訪問等最モ實行可能ノ方法ヲ以

テ契約斡旋ニ努メントス。

右ニ依リ尙契約實行セサルモノニ對シテハ農事改良實行小組合ノ活動ニ依リ締結セシメント

ロ、管外業主勸誘

管外業主ニ對シテハ夫々各關係業佃會ニ勸誘斡旋方ヲ依頼シ、其回報ニ基キ實行手配ヲ取り直

接交渉又ハ適宜ノ場所ニ隻合ヲ求メ契約斡旋ニ努メントス。



昭和八年度實施豫定表

小作總件數	昭和八年二月末日 現在締結總件數	差引未締結件數	昭和八年度 締結豫定件數	摘	要
一、三六〇	五三三	八七七	二四三		

二、小作面積締結豫定表

小作總面積	昭和八年二月末日 現在締結總面積	差引未締結面積	昭和八年度 締結豫定面積	摘	要
三、〇四・七六九 <sup>甲</sup>	一、三五六・七三〇 <sup>甲</sup>	一、六七・九六二 <sup>甲</sup>	二八五・二四二 <sup>甲</sup>		

四、契約更新斡旋

本事業ハ昭和三年度ヨリ實施最初契約締結ノ分ハ期限滿了ノモノ相當アルヲ以テ之等ニ對シテハ必ス繼續契約セシムル方針ノ下ニ管内各大字別契約締結總一覽表ヲ作製シ、之レニ基キ小作契約更新方ヲ勸誘セントス。而シテ實施豫定表左ノ通り。

更新ヲ要スル小作總件數	全上ニ對スル更新豫定數	摘	要
小作總件數	小作總面積	昭和八年度件數	全上面積

五〇三

一、三五六・七三二<sup>甲</sup>

五〇

一、三・一七〇〇

備考更新ヲ要スル小作總件數並面積ハ昭和三年ヨリ全七年十月末日締結シタル件數面積ニシテ昭和八年度ヨリ更新ヲ要スルモノナリ。

五、農事紛争防止並調停

當會ハ常ニ業佃兩者ノ行動ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ、事件ノ發生ヲ未然ニ防止シ平和ナル農村建設ニ努ムルハ勿論ナルモ若シ紛争ヲ起シ調停申出アル場合ハ其ノ事實ヲ充分ニ調査シ周圍ノ慣行實例等ヲ參酌シ公平ナル調停ヲ迅速ニ行ヒ、以テ兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

六、業佃懇談會

イ、未契約業佃懇談會

農閑期又ハ契約更新期前ニ未契約業佃ヲ適當ナル場所ニ集合シ、懇談ノ下ニ業佃關係ノ意見ヲ聽取シ然ル後契約斡旋ニ努メントス。

ロ、契約済業佃懇談會

二期作收穫後ノ農閑期ヲ利用シ契約締結業佃ヲ適當ナル場所ニ集合セシメ、契約後ニ於ケル業佃融和狀況並耕地ノ經營狀況ヲ聽取シ其ノ上農業上ニ於ケル有益ナル講話ヲ爲シ、業佃關係ヲ一層圓滑ナラシメントス。



七、愛佃施設實施獎勵

本會ノ事業ニ克ク理解ヲ有スル業主ヲ選出シ、其ノ佃人ニ對シ農事改良上必要ナル施設ヲ獎勵シ以テ愛佃ノ實ヲ舉ケルト共ニ業佃兩者ノ幸福増進ニ努メントス。

八、視察

本會事業ニ對シ特ニ熱心ニシテ他ノ範タルハキ業佃ヲ選擇シ、先進地ヲ實地視察セシメ以テ本會事業ノ促進ニ資セントス。

九、諸調査

本事業ノ進展ニ伴ヒ其ノ効果ヲ明カニスル目的ノ下ニ、適當ナル場所數ヶ所ニ付キ長期契約者ト短期口頭契約者トノ農業經營狀況其他諸般ニ亘リ比較調査ヲ行ヒ事業遂行ノ參考資料ニ供スルト共ニ時々其ノ成績ヲ一般ニ指示シ、以テ本事業ノ効果ヲ周知セシメントス。

一〇、農事改良實行小組指導獎勵

從來農事諸般ノ施設實行ニ就キテハ從來直接多數ノ農家ヲ相手トシ之レガ指導獎勵ヲナシ來リタル爲メ、其ノ間各農家ノ聯絡ナク且ツ統制上不徹底ノ點多ク從ツテ幾多ノ努力モ一般的ニ其ノ實績ヲ舉ケ得ス、農村啓發上遺憾ノ點擧ナカラサリシヲ痛感ス。

茲ニ於テ當街ハ州郡ノ産業五ヶ年計畫ニ基キ地方部落ニ於ケル中心人物ヲ主体トセル二〇一三〇

戸程度ノ業佃會員ヲ糾合シ、郷土愛ト共同的精神ニ基ケル強力ナル實行小團體ヲ左記豫定標準ニ依リ設立シ、組合員一致團結ノ下ニ合理的農事ノ經營ヲナサシメ農産増殖ノ實現ト組合員ノ親善融和ヲ圖リ堅實ナル農村ノ建設ニ努メントス、小組合設立豫定數左記ノ如シ。

總數	設立、年、度、別	摘	要
	昭和七年度 昭和八年度		
二六	一〇	二	

二〇、龍潭庄業佃會

一、會員加入勸誘

管内ニ於ケル業佃關係人員總數二、六〇七名アルモ昭和八年二月末現在加入數僅カ一、一七三名ニシテ約四五%ニ過キス、依ツテ未加入者數一、四二四名ヲ今後三ヶ年間ヲ以テ全部加入セシムル計畫ノ下ニ本年度中ハ左ノ方法ニ依リ四四六名ヲ加入セシムル方針ナリ。管内各部落保甲會議並家長會ノ開催ヲ利用シ又ハ農事懇談會ヲ開催シ、會ノ主旨宣傳ノ上會員ノ募集ヲ爲シ一面ニ於テ未加入者ヲ調査シ戸稅調査ノ序ニ加入ノ勸誘ヲナサシメントス。



二、小作契約締結斡旋

管内ニ於ケル小作地一、〇五五件面積三、一四五甲ニ對シ契約済ノ分三三九件面積一、〇六七甲ニシテ契約未済ノ分尙七一六件面積二、〇七八甲アルヲ以テ、今後五ケ年間ニ全部書式契約ヲ締結セシムヘキ方針ノ下ニ本年度中ニ左ノ方法ニ依リ二一七件面積三三七甲ノ書式契約ヲ爲サシムル豫定ナリ。

(一) 管内業主契約締結勧誘

(イ) 當會ニ備付アル小作臺帳ニ基キ未契約者一覽簿ヲ作製シ、農閑期ニ於テ各區毎ニ日割ヲ定メ未契約ノ業主佃人ヲ集合ノ上各人ノ意見並關係内容ヲ聴取シ、戸別訪問ノ上契約締結ニ努メントス。

(ロ) 官公職又ハ本會役員庄協議會員等ノ有スル土地ニシテ未契約ノ者ニ對シテハ漏ナク契約スル様勧誘ヲ爲シ契約セシメントス。

(ハ) 前項ノ方法ニ依リ勧誘纏ラザル者ニ對シテハ適當ノ時期ヲ以テ、業主ノミノ書式契約ノ打合會ヲ開キ再三斡旋シ加入締結セシメントス。

(二) 管外業主契約締結勧誘

イ、管外業主ノ未契約ノ分ニ對シテハ豫メ小作人ヲ了解ヲ求メ置キ契約書ヲ作成捺印ノ上直接該

當業主ニ送付シ契約ノ締結方ヲ促進セムトス。

ロ、書式契約締結未済ノ業主ニ對シテハ直接關係街庄業佃會へ締結ノ斡旋方ヲ依頼セムトス。

ハ、前項ノ方法ヲ以テセルモ尙成立セサル者ニ對シテハ係員ノ戸別訪問ニ依リ契約締結方ヲ進捗セシメントス。

(三) 契約更新

本當會ハ昭和二年ノ冬本事業實施ノ當初ニ於テ契約締結シタル分ハ已ニ期限満了シモノニ四件アルヲ以テ之レガ契約ノ繼續ヲ爲サシムル方針ノ下ニ満期一覽表ヲ作製シ、之ニ基キ小作契約ノ更新ヲ勧誘セントス。

三、小作紛争調停

業佃間ニ於ケル小作紛争ハ時代ノ進展ニ從ヒ漸次社會的ニ目醒メ、且ツ農産物價下落ノ不況ニ際會シ事件ノ發生増加シツ、アルニ付當會ハ之レカ發生防止ニ努ムルハ勿論、萬己ムヲ得サル場合ニ於テ紛争ヲ起シ調停申込アル場合ハ迅速ニ其ノ事實ヲ調査シ周圍ノ慣例實例ヲ參酌シ公正ナル調停ヲ行ヒ以テ業佃兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

四、業佃懇談會開催

業佃間ノ親善融和ヲ圖ル目的ヲ以テ適當ナル時期ヲ見計ヒ龍潭、三坑子、銅鑼圈ノ三部落ニ於



ヲ業主個人ヲ集合シ懇談會ヲ開キ相互ノ忌憚ナキ意見ヲ交換シ、主旨ノ徹底ヲ期スル下共ニ契約後ノ業佃融和狀況ト耕地經營狀況ヲ聽取シ小作ニ關スル調査研究ニ資セムトス。

五、愛佃施設實施獎勵

本會ノ事業ニ理解ヲ有スル業主ヲ選ヒ該個人ニ對シ農事改良上必要ナル施設ヲ獎勵セシメ公以テ愛佃施設ノ實ヲ舉クルト共ニ業佃間ノ親善並幸福増進ニ努メントス。

六、視察

會員中特ニ熱心ニシテ他ニ範タルベキ業主、佃人ヲ選定シ、優良先進地ヲ視察セシメ、以テ本會事業ノ促進ニ資セントス。

七、調査

本會事業ノ進展ニ伴ヒ其ノ效果ヲ明カニスル目的ノ下ニ、適當ナル場所數個所ニ付長期契約者ト

短期口約者ノ農業經營狀況其他諸般ニ互リ比較調査ヲ行ヒ、事業遂行上ノ參考資料ニ供スルト共ニ時々其ノ成績ヲ一般ニ周知シ、以テ本事業ノ效果ヲ顯著セントス。

八、農事改良實行小團體指導

庄產業五ヶ年計畫ニ基キ昭和七年度ニ於テ各區ニ於ケル中心人物ヲ主体トシテ己ニ設立シタル實行小團體七ヶ所ヲ指導スルト共ニ、昭和八年度中更ニ八ヶ所ヲ設立セシメ本會指導ノ下ニ共同的

精神ニ依リ合理的農業經營ヲナサシメ、以テ農產増殖ヲ圖リ堅實ナル農村ノ建設ニ努メントス。

二、竹東庄業佃會

一、書面契約締結

本年度書面契約豫定面積左ノ如シ。

年 度	種 別	面積 (甲)
昭和八年度	田	100
	畑	250
計		350

二、書面契約締結ノ方法

小作地ノ地力増進生産ノ増加ヲ期スルニハ小作人ニ小作權ヲ與ヘ、而シテ小作人ヲシテ安心シテ土地ノ改良ニ最善ノ努力ヲ爲サシムルニアリ。

本會ハ書面契約ニ對シ最善ノ努力ヲ拂ヒ來リタルガ尙未契約地少カラザルハ最モ遺憾トスル所ナリ。

然レトモ此等未契約者ノ多クハ趣旨ノ理解ニ乏シキニ依ルモノナレバ今後機會アル毎ニ趣旨ノ徹底ニ努メ、庄内全部ノ契約完了ヲ目標トシテ邁進トセントス、尙本事業ハ保甲役員庄區委員學校



職員等ノ援助ヲ得レハ一層好都合ナルヲ以テ極力其ノ援助ヲ求メントス。ハ、甲申農事講習會委員等

三、農事講習講話會開催  
各小組合ニ於テ左ノ講習講話會ヲ開催シ、農事改良上缺クベカラサル農事根本的智識及技術ヲ習得セシメ以テ農事改良向上ニ資セントス。

一、小組合幹事講習會

一、堆肥製造講習會

一、養豚講習會

一、農事講話會

四、業佃紛争調停

農村ノ平和ヲ圖ルニハ、業佃間ノ紛争ヲ根絶スルト共ニ社會的各方面ノ教養ニ待ツ所多シ、若シ不幸ニシテ業佃紛争ノ發生ヲ見ルコトアラハ、本會ハ其ノ間ニ介在シ協調的精神ニ基キ迅速公正且ツ慎重ナル態度ヲ以テ圓滿解決セントス。

五、農事視察

組合員ニ農事智識ヲ普及セシムル爲、郡内ニ於ケル先進地ヲ視察セシム。

六、農事改良實行小組合指導

自治的小團體トシテ組合員ノ一致協力ニ依リ、農事改良及研究ヲ爲サシメ、農家ノ經濟的向上並ニ生活改善ヲ實行セシメ以テ他ニ模範トナルヘキ理想的農村ノ建設ニ努メントス。

七、競作會及競技會開催

農事改良及生産増加ヲ計ルト共ニ契約地ト未契約地トノ比較ヲ爲シ之ヲ一般ニ知ラシムル爲左ノ各事業ヲ行フ。

イ、水稻競作會

契約済小作人ニ對シ水稻競作會ヲ開催シ成績優良者ニ對シ褒賞ヲ授與シ以テ他ヲ激勵セントス。

ロ、堆肥製造競技會

地方ノ増進生産ノ増加ヲ期スルニ於テ最モ有効ナル堆肥ノ製造ヲ獎勵スル目的ヲ以テ堆肥製造競技會ヲ開催シ成績優良ナル者ヲ表彰セントス。

八、懇談會開催

未ダ契約セザル業佃ヲ集メ懇談會ヲ開催シ本會ノ趣旨ヲ理解セシメ以テ本會事業ヲ促進セシメントス。

九、優良小組合表彰



優良小組合ヲ表彰シ以テ他小組合ニ刺激ヲ與ヘ益々其ノ發達ヲ促サントス。

一〇、優良業佃養成

模範的業佃ヲ養成シ愛佃施設及合理的農業經營ヲ爲サシメ以テ他ニ範ヲ示サントス。

八二、契約濟小作人ニ對スル施設及指導

イ、表土ノ流失ヲ防ギ地方ニ維持増進ヲ圖ル爲メ傾斜地ノ階段化ヲ勸誘ス。

ロ、水稻ノ增收ヲ圖ル爲メ水田ノ合理的耕耘法ヲ指導ス。

右ハ本會ノ事業計畫大綱ニシテ之カ實施ニ當リテハ當局ノ指導ニ基キ庄ト相提携シテ各種事業

ノ實施ニ努メ以テ業佃間ノ福利増進ト農村ノ振興ヲ期セントス。

二二、苧林庄業佃會

一、未契約ノ契約勸誘

イ、庄内業主ニ對スル契約勸誘

庄内業主ニ對スル契約勸誘ハ本會ノ役員極力活動ヲナス。

ロ、庄外業主ニ對スル契約勸誘

他市街庄業佃會又ハ郡聯合業佃會ト聯絡シ契約締結ノ斡旋ヲナス。

ハ、契約締結實施豫定面積（郡產業五ヶ年計畫ニ依ル）

有業地主別所	未契約面積	契約締結實施豫定面積				契約未締結面積
		昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	
郡内	八〇六 <sup>甲</sup>	二五〇 <sup>甲</sup>	三六〇 <sup>甲</sup>	六 <sup>甲</sup>	六八〇 <sup>甲</sup>	
郡外	四二四	二〇	一〇〇	八〇	二八〇	
					一三〇 <sup>甲</sup>	

二、小作紛争調停

業佃間ニ紛争發生シタル場合ハ本會ニ於テ調停ス、解決セサルトキハ聯合業佃會ト協力シ圓滿解決ニ努ム。

三、集約的農業經營指導及獎勵

左ノ諸項ヲ賈耕契約ノ須要條件トシテ庄ト協力シ指導獎勵シ以テ農業ヲ集約的ニ經營セシメントス。

イ、堆肥豚舍又ハ簡易堆肥舍ノ建設勸誘並堆肥製造ヲ指導ス。

ロ、階段茶園並ニ柑桔園ニ綠肥ノ栽培ヲ獎勵ス。

ハ、深耕犁ノ購入ヲ勸誘シ深耕實施ヲ指導ス。

ニ、耕地防風林ノ施設ヲ勸誘ス。

ホ、水田ニ甲當、堆肥一萬五千斤以上施用スルコトヲ勸誘ス。



- 四、農事及業佃事業視察
  - 農村振興、農事ノ改良發達ヲ圖ル目的ヲ以テ庄内業主及佃人ニテ視察團ヲ組織シ業佃事業先進地ヲ視察セシメントス。
- 五、業佃懇談會開催
  - イ、時期ヲ見計ヒ業主及佃人ヲ集合シ小作契約締結及農事ニ關スル講話ヲナス。
  - ロ、賸耕契約締結後ノ諸施設事項ニ付懇談ヲナス。
- 六、農事講話會開催
  - 時期ヲ見計ヒ郡内ノ篤農家ヲシテ農事ニ關スル講話會ヲ開催セントス。
- 七、契約濟小作人ノ業態調査
  - 契約濟小作人ニ對シ農業經營狀況其他ニ付調査ヲナス。
- 八、農事改良實行小組ノ事業指導
  - 庄ト協力シ、組合ノ内容充實ヲ圖リ、農事ノ改良發達、農談會其他社會的施設ヲナサントス。
- 九、水稻競作會及堆肥製造競技會開催
  - 自作者及小作契約締結濟小作人ニ對シ水稻競作會及堆肥製造競技會ヲ庄ト協力シテ開催シ成績優良ノモノニ對シ褒賞ヲ授與セントス。

### 二二二、横山庄業佃會

#### 一、書面契約締結

小作契約、農村振興ト農産増進上ノ根本事業タルハ勿論州産業五ヶ年計畫ノ成否ニモ大ナル關係ヲ有スルモノナルバ一日モ早ク其ノ契約完了ヲ期スル要アリ、就テハ左ニ依リ進行セントス。

1、庄内未契約ノ完了ヲ期スルコト。

2、庄外未契約業王ニ對シテハ會長始メ副會長並ニ主事ヲシテ先方ニ出張シ勸誘セシムルコト。

#### 二、紛争調停

紛争調停ハ乃チ農村ノ融和ヲ保ツ上ニ於テ缺クベカラサル事項ナルヲ以テ事件發生ノ都度速カニ係員ヲシテ其ノ真相ヲ調査セシメ會長ニ於テ之カ調停ヲナス、事件ノ重大ナルモノハ調停委員會又ハ郡聯合會ニ調停ヲ依頼シ以テ圓滿解決ヲ期ス。

#### 三、農事改良實行小組指導

州産業五ヶ年計畫ニ基イテ昨年庄内各大字ニ設立セル小組合十四ヶ所ハ庄内農産増殖農業發展上大ナル關係ヲ有スル團體ナルヲ以テ庄ト聯絡ヲ取り極力庄ノ事項ノ指導ヲナス。

(1)、堆肥豚舎建設獎勵



- (2) 苗代改善及薄播實施。
- (3) 比較田設置及施肥適量研究。
- (4) 共同田畑耕作經營。
- (5) 共同採種田經營。
- (6) 深耕實施。
- (7) 水田裏作利用獎勵。
- (8) 深耕競技。
- (9) 堆肥製造競技。
- (10) 階段畑設置。
- (11) 間作利用獎勵。
- (12) 部落養豚養鶏改良。
- (13) 月例會開催。
- (14) 農談會開催。
- (15) 農事視察。
- (16) 其他必要ナル事項。

四、改良苗代品評會開催

- 苗代半作ト云ヒ實ニ之ハ管理ノ重要ナル事項ナルヲ以テ改良苗代(短冊形)品評會ヲ開催シ以テ優良苗ノ養成ヲ期セントス。
- 五、水稻競作會開催  
單位收量増加ト品質ノ向上ヲ圖ルタメ本年ヨリ五ヶ年繼續ヲ以テ契約濟小作人ニ對シ水稻立毛多數競作ヲ爲サシメ其ノ成績優良ナルモノニ對シテハ等級ニ依リ褒賞ヲ授與セントス。
- 六、堆肥豚舍建設促進  
堆肥豚舍ハ自給肥料製造ニ缺クベカラザルモノナルヲ以テ未建設者ニ對シテハ其ノ建設ヲ促シ以テ全農家ニ普及セシメントス。
- 七、堆肥豚舍利用及堆肥堆積獎勵  
從來農家ニ於テ使用セラレタル肥料ハ殆ド金肥ナリ斯クテハ農家經濟ヲ不利ナラシムルヲ以テ自給肥料ノ製造ヲ左ノ方法ニヨリ獎勵セントス。  
1、堆肥豚舍所有者ガ堆肥一萬斤堆積シタルモノニ對シテハ景品抽籤券ヲ一枚交付ス、五千斤増ス毎ニ一枚交付スガモトス。  
2、簡易堆肥舍所有者ガ堆肥五千斤堆積シタルモノニ對シテハ景品抽籤券ヲ一枚ヲ交付シ、二千



- 斤増ス毎ニ一枚ヲ交付スルモノトス。
- 3、景品交付ハ堆肥堆積量検査後ニ於テ、等級ヲ分チテ抽籤ノ上交付スルモノトス。
- 八、改良犁耕製造研究奨励
  - 深耕實施ヲ圖ルニハ先ヅ深耕犁使用實施普及ヲ計ルヘカラサルハ言ヲ待サルコトナルガ深耕犁ノ價格ハ一挺ニ付金十圓以上ニシテ之ガ農會庄業佃會ヨリ補助ヲ爲ス外ニモ尙六、七圓ヲ要スルモノナリ、農家ニ於テハ深耕ノ効果ヲ知り深耕犁ノ購買ヲ欲スルモ困窮ナル農家ガ出金困難ノ爲メ遂意ノ如ク購買スルヲ得ザルモノ甚ラサルモノナリ、斯クテハ何時マデモ深耕ノ實施普及ハ到底困難ナリ元ヨリ深耕スルニハ本式ノ深耕犁ヲ使用スルコト尤モ理想ナレドモ深耕サヘ出來得レハ目的ニ達スル故深耕可能ノ改良犁ハ安價ニシテ普及シ易キト認メラル、ヲ以テ極力改良犁ノ製造研究ヲ懸賞ニテ奨励シ以テ深耕實施普及ト横山式改良優良犁ノ出現ヲ期セントス。
  - 九、深耕競技會開催
    - 深耕ハ土地改良上最モ必要ナルモノナリ、之カ實施ト技術ノ向上ヲ圖ルタメ第二期收穫後ニ於テ深耕競技會ヲ開催シ、以テ訓練ヲ爲ス、競技成績優秀者ニ對シテハ等級ニヨリ褒賞ヲ授與スルモノトス。
  - 一〇、水田裏作利用奨励

- 從來農家ノ耕地(水田)ハ第二期收穫後ニハ一部綠肥(大菜)ヲ栽培セル外ハ殆ト鋤起シタル儘ニ放置シ何等ノ利用ヲセサルモノ甚ナカラズ、之ガ利用ト農家ノ副收入増加ヲ圖ルタメ水田裏作トシテ適當ナル諸種子ヲ購買シ配付セントス。
- 二、農事講話會開催
  - 農事改良ヲ圖ルニハ先ヅ農民ニ農業ニ關スル知識ヲ與ヘ自覺ヲ喚起スルコトガ最モ必要ナリト認ムル故ニ農閑期ヲ利用シ篤農家ヲ招聘シテ農事講話會ヲ開催シ以テ農村ノ發達ヲ圖ラントス。
- 三、農事視察
  - 業佃會員中ヨリ熱心ナルモノヲ選拔シテ庄ト聯絡シテ視察團ヲ組織シ視察費ノ一部ヲ補助シ州農事試驗場又ハ農事先進地ヲ視察セシメントス。

### 二四、北埔庄業佃會

- 一、書式契約促進
  - 本會ノ役職員並小組合員中未ダ契約セサル者ニ對シテハ漏ナク書式契約ノ締結ヲ計ルハ勿論其他契約上最モ困難視スル業主ニ對シテハ常時之カ戸別訪問ヲ行ハシメ其ノ理解ヲ求ムルコトニ努ム。



昭和八年度豫定契約面積管內四〇〇甲計四三〇甲ノ豫定ナリ。

二、管外業主ノ契約勸誘  
業佃主事ハ勿論會長並ニ副會長等可成管外業主ヲ訪問シ懇談的ニ勸誘ニ努ムルコト。

三、契約デー開催  
前年度ニ引續キ十月十日ヲ期シ「契約デー」トナシ役職員等ヲシテ業佃ノ戸別訪問並ニ懇談ヲ爲サシムルコト。

四、紛争調停並之カ防止  
紛争問題ハ逐年増加スルノ傾向ニアリ故ニ之カ防止策ヲ講スルハ勿論紛争調停ヲ爲ス場合ハ極メテ公平ヲ旨トシ其ノ衝ニ當ルト共ニ將來ノ紛争防止ニ付キ最善ノ注意ヲ拂ヒ業佃協調ノ實ヲ舉ケルコト。

五、事業ノ宣傳  
事業促進上農事講話會業主懇談會ヲ開催スルノ外將來業佃トナル青少年等ニ業佃協調ノ精神ヲ注入セシムル用意トシテ本會ノ主旨並事業等ニツキ學校並國語練習會教師等ニ委嘱シテ課外講話ヲ爲シ更ニ標語ポスター等ヲ募集シテ印刷物ニシテ小組合並業佃等ニ配付シテ本會ノ主旨ヲ一般ニ徹底セシムル様努ムルコト。

六、既契約小作人ニ於ケル施設

從來小作人ノ耕地改良ニハ餘ニ關心セサル傾キアリ、今後施肥並ニ農具ノ改良等ニ留意セシムル爲メ小作人ニ對シ左記各項ヲ行ハシム。

- 1、米穀増産改良品評會及競作會開催一回  
産米増産並品質改善等ヲ圖ル爲メ契約済小作人並自作者ヲシテ水稻競作會ヲ本年度ニ開催スルコト。
- 2、競技會開催  
自給肥料ノ増殖ヲ圖ル爲メ堆肥製造競技會ヲ開催スルコト。
- 3、小作人ノ慰安會開催

八、契約済小作人何レモ將來農事經營ノ研究並ニ改良ニ關心ヲ持タシメ、且ツ業主トノ連繫ヲ圖ル意味ニ於テ水稻競作會堆肥製造競技會褒賞授與式並優良小組合及模範業佃ノ表彰式當日ニ於テ慰安會ヲ開催ス。

4、業態調査  
契約期間中毎年ノ成績ヲ比較對照シ農家經濟ノ實況ヲ詳カニシ以テ農事改良ノ參考ニ資セントスル爲メ前年度ニ引續キ調査ヲ爲スコト。



七、小組合指導

各小組合ニ對スル指導ハ關係當局ノ方針ニ基キ一面地方状態ニ依リ組合員ノ意向ヲモ參酌シテ夫夫計畫ヲ樹テ以テ州産業五ヶ年計畫ト相俟テ組合員相方ノ聯絡ヲ保テ協力一致ノ精神ヲ以テ進ミ尙既設ノ集會所ノ外昭和八年度ニ於テ一ヶ所新ニ増設スルコト。小組合ニ對シテは、其ノ業務ノ進歩ニ對シテ、日々業主ノ監視ヲ圖

八、優良小組合並模範業佃表彰

1、優良小組合ノ表彰  
組合員ノ融和ト事業成績ノ實際ヲ精査シ適當ナル時期ニ於テ之カ表彰ヲ爲シ以テ他ノ小組合ニ一種ノ刺戟ヲ與ヘルコト。

2、模範業佃ノ表彰

優良ナル業佃兩者ヲ表彰シ一般ノ模範ト爲シ一面彼等ニ對シテハ相當優遇ノ途ヲ講セントス。

二五、峨眉庄業佃會

一、書面契約事業

年 度	種 別	田	畑	計
昭和八年度		一八〇 <sup>甲</sup>	三九〇 <sup>甲</sup>	五七〇 <sup>甲</sup>

業佃契約ハ集約農業經營上最モ急務ニシテ殊ニ産業五ヶ年計畫ノ使命ヲ果スニ至大ナル關係ヲ有ス、昭和八年度ニ於テ前表ノ豫定數ヲ締結スル豫定ナリ、而シテ左記方法ヲ以テ契約進行ヲ計リ本計畫ノ達成ニ努ム。

1、事業主旨宣傳

小作慣行改善事業ノ主旨ニ付イテハ大体ニ於テ理解シタルモ尙其ノ徹底ヲ期センガ爲メ左ノ方法ニヨリ趣旨ノ宣傳ニ努ム。

- (イ) 諸集合集會ヲ利用シテ本會ニ關スル講話ヲナスコト。
- (ロ) 地主及有力者併ニ保甲役員ノ理解ヲ求メ其ノ盡力ヲ期スルコト。
- (ハ) 公學校職員ニ依頼シテ兒童及公民講習生又ハ青年團員ニ本會ノ主旨ヲ教ヘ理解セシム。
- (ニ) 業佃協調ニ關スル歌又ハ宣傳ビラヲ作製シテ配付スルコト。

2、書式契約勸誘及斡旋

- (イ) 専務主事ヲシテ常ニ庄内業佃ヲ訪問セシメ契約締結ヲ促スコト。



(ロ) 不理解ナル業主ニ對シテハ地方有力者、保甲役員、業佃會又ハ地方ノ官公吏ニ依頼シテ契約ノ促進ヲ計ルコト。

(ハ) 他街庄ノ業主ニ對シテハ、關係業佃會ニ依頼シ又ハ主事ヲシテ出張勸誘セシム。

3、農事講話會開催

(イ) 業佃懇談會

再三勸誘シテモ契約ニ應セサル業佃ニ對シテハ、適宜ノ時期ヲ見計ラツテ業佃懇談會ヲ開催シ業佃趣旨ノ理解ト書式契約締結ヲ期ス。

(ロ) 篤農家講話會

模範業主又ハ篤農家ヲ招聘シテ愛佃施設及農業經營ノ講話ヲナシ、以テ契約締結ノ促進ヲ計ルト共ニ農事ノ改善ヲ期スルコト。

二、紛争防止及調停

1、耕地境界不明又ハ面積不詳ノ耕地ニシテ紛争ヲ惹起スルノ虞アルモノニ對シテハ本會ニ於テ實測ヲ行ヒ以テ紛争ヲ未然ニ防止スルコト。

2、業佃間ノ紛争ヲ生シタルトキハ調停規程ニ依リ迅速ニ調停ヲナスコト。

三、農事改良實行小組指導

農村ノ第一線ニ立チ農業經營ノ合理化ト農産増殖ノ實現上最大使命ヲ有スル農事改良實行小組合ヲ極力指導獎勵シ理想的農村ニ化セシメ以テ他部落ニ範ヲ示メサシムルコト。

四、優良業佃養成

契約締結後ノ効果ヲ一般ニ示範スルコトハ業佃事業ノ目的及契約進行上緊要事ナルヲ以テ模範的業佃ヲ指導養成シ業主ニ愛佃施設個人ニ合理的農事經營ヲナサシムルコト。

五、競技競作會開催

1、水稻競作會  
水稲立毛作經營ノ合理化ヲ計ランカ爲メ水稲競作會ヲ開催シ契約濟佃人及自作會員ニ競作セシムルコト。

2、堆肥製造競技會

地力増進ニ効果大ナル堆肥ノ製造技術ノ向上ヲ期スル爲メ、堆肥製造競技會ヲ開催スルコト。

六、改良農具獎勵

土地改良ト勞力ノ節約ヲモル爲メ改良農具ノ使用ヲ獎勵シ、除草機、脱穀機等ノ購入者ニ對シ補助金ヲ交付スルコト。



七、優良農事改良實行小組合表彰

優良小組合ニ對シ表彰ヲナサントス。...

八、合理的農業經營指導

庄又ハ他團體ト相俟チテ、會員ニ對シ合理的農業經營ヲ指導ス。

二六、寶山庄業會佃

一、契約締結

未締結者ニ對シ左ノ方法ニ依リ契約ノ締結ヲ促進セントス。

1、係員ヲシテ戸別訪問ノ上勸誘スルコト。

2、管外地主ニ對シテハ當該管轄業佃會ト聯絡ヲ取り勸誘スルコト。

3、本會ノ調停ヲ受ケタル小作地ハ解決後直ニ契約締結セシムルコト。

昭和八年度契約締結豫定面積左ノ如シ

種別	小作面積	昭和七年度迄契約締結面積	昭和八年度契約締結豫定面積	差引殘面積
田	六七五 <sup>甲</sup>	一四〇五九七 <sup>四</sup>	一五〇 <sup>甲</sup>	三八四〇六 <sup>甲</sup>

畑	一、四六三	二五八〇九四 <sup>五</sup>	二五〇	九五四九〇 <sup>五</sup>
計	二、二二八	三九八六九 <sup>九</sup>	四〇〇	一、三九三〇 <sup>八</sup>

二、業佃紛争調停

業佃間ニ於テ紛争生シタル場合ハ事件ノ輕微ナルモノハ會長ニ於テ之ヲ調停シ、重大ナルモノハ調停委員會ニ附シ又ハ郡聯合會ニ調停ヲ依頼シ以テ圓滿解決ヲ期ス。

三、懇談會開催

本會ノ目的達成ヲ圖ランガ爲メ農閑期ヲ見計ヒ左記ノ通り懇談會ヲ開催セントス。

1、業主懇談會 二回

2、佃人懇談會 二回

四、農事講話會開催

州郡技術者及庄篤農家ヲ招聘シ講話會ヲ開催セントス。

五、講習會開催

1、堆肥製造講習會

2、養豚養鶏講習會



畜産業ノ發達ヲ期スル爲メ畜産組合ト聯絡ヲ取り講習會ヲ開催セントス。

六、競作會開催

單位收量ノ増加ト品質向上ヲ圖ランガ爲メ、水稻及裏作競作會ヲ開催セントス。

七、苗代品評會開催

第二期ヨリ苗作品評會ヲ開催シ、以テ從來ノ密播ヲ漸次矯正スルト同時ニ短冊形苗代設置ニ努メ

八、農事視察

農事智識ノ啓發ヲ圖ル爲メ左記計畫ニ基キ先進地ヲ視察セントス。

區分	豫定視察員	視察地	實行時期
小作人團	五〇名	農事試驗場種畜場	第一期作收穫前
地主團	八	苗栗郡下經營施設狀況視察	農閑期
小組合員	八全		全

九、研究田ノ設置

合理的農業經營ヲ指導シ且ツ一般ニ示範センガ爲メ本會員中ヨリ契約済ノ小作人一名ヲ選定シ補

助金ヲ支給シ研究田ヲ設置セントス。

一〇、農事改良指導

庄ト提携シテ左記事項ヲ指導獎勵セントス。

A、耕地改良

(イ) 合理的耕作ニ導クコト。

(ロ) 深耕普及且ツ施肥獎勵スルコト。

(ハ) 傾斜地階段化ニ指導スルコト。

1、階段茶園設置獎勵。

2、階段柑橘園設置獎勵。

B、堆肥製造獎勵

イ、堆肥豚舎並簡易堆肥舎建設獎勵スルコト。

ロ、綠肥栽培獎勵(種子ノ無償配付又ハ購入補助)

ハ、堆肥製造競技

二七、竹南庄業佃會



本年ハ産業五ヶ年計畫ニ基キ左記事業ヲ實施セントス。  
一、小作契約締結斡旋

本庄耕地總面積一、八九七甲ニシテ中小作契約ヲ要スル面積一、三二四甲ナリ、昭和七年木マデ契約濟面積一、〇五〇甲ニシテ其割合ハ八〇%ナリ、殘二七四甲ハ五ヶ年計畫ニ依リ本年度ハ一〇〇甲ノ新規契約ヲ獎勵スルト同時ニ更新面積一二五甲ノ契約ヲ締結セントス。實行方法左ノ如シ

1、庄内ノ分

地主別個人臺帳ヲ製作シ未契約地主及其ノ個人ヲ明ニシ專務員ヲシテ戸別訪問ヲナサシメ各ハノ意向ヲ聴取シ其ノ實況ニ應シテ契約ヲ締結セシム。

戸別訪問ノ方法ハ特ニ地主ヤ個人ノ在宅時間ヲ利用可成正午又ハ夜間ニ之ヲ爲サシメントス。

2、庄外(州内)ノ分

前項ニ準シテ未契約地主ヲ明ラカニシ其ノ關係個人ノ意向ヲ先キニ聴取置キ其ノ旨ヲ添付シテ各關係業佃會又ハ郡聯合業佃會ニ依頼シ實行手配ヲナス、又ハ適宜ノ場所ニ地主ヲ呼出シ或ハ出張戸別訪問ヲナシ契約ヲ締結セシム。

3、庄外(州外)ノ分

州外ノ部分ハ州ニ勸誘方ヲ依頼シ其ノ結果ニ基キテ實行ヲナス。

二、趣旨ノ宣傳

農談會、家長會、保甲會議等凡テノ集合ヲ利用スルノ外ニ左ノ事項ヲ行ヒ、郡聯合業佃會ト協力シテ之カ趣旨ヲ徹底セシメントス。

1、講話會

農閑期及中秋前後ヲ期シ地主ノミヲ又ハ一般業佃ト集會シ、講話會又ハ懇談會ヲ催シテ趣旨ノ徹底ニ努ム。

2、活動寫真ノ映寫

州農會其他ヨリ農事改良ニ關スル優良フキルムヲ借用シ映寫シテ一般ニ供覽セシム。

3、宣傳ビラヲ配付

業佃事業ニ關スル標語ヲ募集シ、宣傳ビラ及ポスターニ印刷シテ關係業佃ニ配付セントス。

三、紛争調停

小作料ノ減免問題ニ付テハ其ノ實況ヲ充分ニ研究調査シ公平無私ノ調査ヲ迅速ニ行ヒ以テ兩者間ニ滿解決ニ努ム。

但シ重大事件ニ關シテハ郡聯合業佃會ニ報告シ其ノ調停ヲ仰ク。

四、農業改良實行小組合ノ指導



四、各農業改良實行小組合ヲ指導シ耕地防風林設置堆肥豚舍ノ建設、水稻密植合理的水稻栽培ノ指導肥料ノ共同購入斡旋、懇談會等ヲ開催シ組合員ノ福利増進ニ努ム。

五、愛佃施設ノ獎勵

1、業佃施設ノ獎勵

農閑期又ハ必要ニ應ジ部落又ハ主要業主毎ニ業佃懇談會ヲ開催シ事業ニ對スル意見ノ交換ヲ爲シ意志ノ疎通ヲ計リ以テ兩者ノ親善融和ヲ圖ラントス。

2、個人慰勞會

適當ナル時期ヲ見計ヒ、地主別ニ關係個人ヲ集合セシメ地主ヲシテ個人慰勞ノ意味ニ於テ、簡單ナル茶話會ヲ催セシメ以テ業佃ノ融和ヲ計ラシム。

六、地主懇談會

毎年五月及十月ノ二回區域ヲ定メ區域内地主ノ召集シ之ガ懇談會ヲ開催シ本會主旨ハ普及徹底ニ努ム。

七、講話會

五月十月ノ農閑期ニ各小組合毎ニ講話會ヲ開催シ會員ニ對シ本會主旨ノ理解ヲ加シテ、  
八、視察

會員中ヨリ適當ナルモノヲ選抜シ、業佃事業農業經營狀況其他有益ナル事項ヲ視察セシメ以テ事業遂行ニ資セントス。

二八、頭分庄業佃會

當庄下ニ於ケル農村社會ノ構成及農地ノ經營ヲ見ルニ小作關係ノ支配ヲ受ケル農家ハ全農家戸數ノ七〇%ニ達シ農産物ノ大部分ハ耕地ノ七一%ヲ占ムル小作地ニ於テ生産セラレツ、アル情狀ナルヲ以テ農村ノ振興ハ其ノ住民ノ最大多數ヲ占ムル小作農民ノ自覺ニ依リ農業ノ改善ト社會的地位ノ向上トニヨリ實現スルモノト信ス。  
尙現今農村ニ於ケル問題種々アルシト雖モ小作問題ハ近時農民思想ノ變化ト農村事情ノ推移ニ依リ著シク複雑化セルノミナラズ地域的ニモ漸次擴張シ今ヤ農村問題ノ核心ヲナシ益々重要性ヲ加フルニ至レリ。當庄ハ之ニ鑑ミ左記要項ニ基キ積極的ニ事業ノ進展ヲ期セントス。

一、契約ノ斡旋並ニ主旨ノ徹底の宣傳

- イ、會長ハ庄又ハ各部落毎ニ農談會ヲ開催シ本會設立ノ主旨ヲ宣傳ス。
- ロ、適當ニ區域ヲ分チ役員ニ分擔セシメ集會又ハ戸別訪問ニ依リ契約締結ノ斡旋ヲナスコト。
- ハ、役職員ハ常ニ家長會及保甲會議ニ出席シ誘導ニ努ムルコト。



- ニ、ホスターヲ作製シ要所ニ揭示スルコト。
- 二、農事紛争ノ協調  
業佃會役職員ハ常ニ各業佃事情ヲ明ニシ紛争其他ハ可成事前ニ解決スル等充分ナル努力ヲ拂ハン  
トス。
- 三、業佃懇談會開催  
業佃間ノ親睦ヲ圖ル爲メ農閑期ヲ利用シ業佃會員ヲ集メ懇談會ヲ開催スルコト。
- 四、施設調査及指導  
常ニ會員ニ對シ農事指導ヲナシ、併モテ堆肥豚舎建設、防風林設置、綠肥栽培、裏作利用ノ有無  
ヲ調査スルコト。
- 五、契約獎勵  
當庄及農業組合ニ於テ獎勵スベキモノハ、ナルベク契約済ノ業主個人ニ優先權ヲ與ヘ未契約者ヲシ  
テ反省セシム。
- 六、講話會  
適當ナル時期ニ専門家ヲ招聘シ小作問題並ニ社會思想ニ關スル講話會ヲ開催スルコト。
- 七、優良業主個人表彰

性格質朴敦厚ニシテ業佃事業ニ盡瘁セル業主個人ヲ表彰シ以テ一般ニ範ヲ示サントス

### 二九、三灣庄業佃會

小作慣行改善ノ如何ハ農業經營改善普及ニ甚大ナル影響ヲ與フルモノナリ、當庄ニ於テ昭和二年ニ業  
佃會ヲ設立シ來リシモ其ノ成績タルヤ稚々トシテ進マズ、本年度ヨリ専務員ヲ設置シ左ノ諸事業ヲ實施セントス。

#### 一、書式契約締結

- (1)、係員ヲシテ部落有力者ト協力シ勸誘ニ努ム
- (2)、係員ヲシテ未契約者ノ調査ヲ爲サシメ(四月一日ヨリ七月二十日迄)八月一日ヨリ十一月末  
日迄積極的ニ締結勸誘ニ努ム、本年度締結豫定面積左ノ如シ。

田 六五甲 畑 二六二甲 計 三二七甲

#### 二、獎勵及指導

- 1、防風林設置獎勵
- 2、自給肥料製造獎勵
- 3、養豚獎勵



4、深耕犁改良農具獎勵

三、業佃會員懇談會

農閑期ヲ利用シ大字ヲ單位トシ又ハ大地主宅ニ於テ本會ヲ開催シ親善融和ノ實ヲ擧ケ一面本事業ニ對スル感想其他忌憚ナキ意見ヲ聞キ事業進展ノ資ニ供セントス。

四、諸調査

本會事業進行上特ニ必要ナル調査ヲナス。

五、視察

從來ノ方針ニ依リ優良業佃會ノ實狀ヲ視察セシメ以テ事業促進ノ資ニ供セントス。

三〇、南庄業佃會

小作慣行ノ不合理ハ農業發達ヲ阻害スルノミナラス農村社會ノ順調ナル進歩發達ヲ阻止スル所不鮮、本庄ノ小作事情ヲ見ルニ小作地面積ハ耕作面積ノ六割六分ヲ占メ、小作農家數ハ、總農家戶數ノ七割四分ヲ占ムル情況ニアリ、小作慣行ノ良否ハ農業經營改善普及上影響ヲ及ホスコト甚大ナルヲ以テ之カ改善ハ緊要ナル事項ナリ、殊ニ産業五ヶ年計畫遂行ニ當リ本事業成績良否ハ至大ノ影響ヲ齎ス、現在契約締結濟面積ハ四三三甲ニシテ小作地面積ノ四割ニ過ス、依テ本會ハ業佃兩者ヲシテ産業五ヶ年計

畫ニ邁進セシムルガ爲本年度ニ於テ左記事業ヲ實施シ以テ速ニ小作慣行改善ノ徹底ヲ計ラントス。

一、本會主旨宣傳

イ、地主懇談會

毎年五月及十月ノ二回、區域ヲ定メ地主ノミヲ招集シ之ガ懇談會ヲ開催シ本會主旨ノ普及徹底ニ努ム。

ロ、講話會

五月十月ノ農閑期ニ各部落毎ニ講話會ヲ開催シ一般農民ニ對シ本會ノ主旨ヲ理解セシム。

ハ、業佃會主旨ノ宣傳

適當ナル時期ニ於テ活動寫真ノ映寫及宣傳ビラ、ポスター等ノ配布ニ依リ本會主旨ノ宣傳ニ努

ニ、書式契約斡旋

係員戶別訪問ニ依ル契約更新期タル十月一日ヨリ七日迄ヲ業佃週間トシ本期間内郡庄ノ係員總動

員シ講話會ヲ各農事小組毎ニ開催スルト同時ニ一面戶別訪問ヲナシ徹底的ニ書式契約ノ締結ヲ

三、愛佃施設獎勵



三、(イ) 業佃懇談會

農閑期又ハ必要ニ應シ部落又ハ主要業主毎ニ業佃懇談會ヲ開催シ事業ニ對スル意見ノ交換ヲナシ意志ノ疎通ヲ計リ以テ兩者ノ親善融和ヲ圖ラントス。

(ロ) 業佃共勵會

農事改良普及上業主佃人共相互扶助ノ精神ノ涵養カ最モ肝要ト感シ本年度特ニ各大業主ヲ單位トシテ順次業佃共勵會ノ設置ヲ計リ以テ益々業佃間ノ福祉ノ増加ヲ圖ラントス。

四、諸調査

本會事業進捗上必要ナル左記調査ヲ行ハントス。

- 1、會員ノ堆肥豚舍建設並ニ深耕犁購入調査。
- 2、業主ノ愛佃施設調査。
- 3、其ノ他必要ナル事項。

五、視察

會員中ヨリ適當ナル者ヲ選抜シ小作改善事業及優良業主佃人ノ農業經營狀況其他農事ニ關スル實地視察ヲナシ事業進展ノ資ニ供セントス。

三一、造橋庄業佃會

當庄ノ農耕地總面積ハ一、七六八甲ニシテ内小作地八一五甲其ノ割合四六%ヲ占ム、又農家ノ種別ヨリ見ルニ農家總戸數七〇四戸ノ中小作農家二九六戸其ノ割合四二%ナリ。耕地及戸數ヨリ見テ小作關係ノ支配ヲ受クルモノ大半ヲ占ムル狀況ナルヲ以テ小作慣行ノ如何ハ直チニ農業經營改善ニ甚大ナル影響ヲ及ボスモノナリ。

依ツテ昭和八年二月末ニ於ケル當庄業佃會獎勵ニ依ル、書式契約濟面積ハ三〇六甲即チ小作地八一五甲ノ三九・五%ニ過ギズ、依ツテ本年度ハ左記計畫ニ基キ書式契約ニ締結セシメ所期ノ目的ヲ達成セントス。

一、主旨宣傳並ニ講話會ノ開催

五月十月ノ農閑期ニ各農事改良實行小組毎ニ講話會ヲ開催シ一般農民ニ對シ、農事改良並ニ本會ノ主旨ヲ講話シ以テ其ノ理解ヲナサシム。

二、小作契約改善

専務員ノ戸別訪問ハ勿論舊慣ニ依ル契約更新期(中秋)タル十月十日ヨリ七日迄ヲ業佃週間トシ、總動員ヲ以テ戸別訪問ヲナシ徹底的ニ書式契約ノ締結ヲナサントス。



三、小作紛争調停  
 常ニ業佃兩者ノ實況ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ事件ノ發生ヲ未然ニ防止シ本會ノ本旨ニ基キ所謂平和ノ農村ニ努ムルハ勿論ナルモ、時ニ兩者ノ紛争ヲ醸シ之ガ調停申込アル場合ハ公平無私ノ調停ヲ迅速ニ行ヒ兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

四、諸調査  
 一、左記各項ニ依リ實地調査ヲ行ヒ事業實施ノ參考ニ供セントス。  
 1、小作料納入狀況。  
 2、敷地金ニ關スル調査。  
 3、農家經濟調査。  
 5、優良會員ヲ選抜シ、業佃事業、農業經營狀況其他農事ニ關スル有益ナル視察ヲ遂ゲ事業進行ニ資セントス。

三二、後龍庄業佃會  
 小作慣行改善ヲ爲シ以テ農産増殖農村平和ノ維持増進ノ實ヲ舉ケ以テ本會設立ノ主旨ヲ徹底セシムル爲メ本年ニ於テ左ノ事業ヲ實施セントス。

一、小作慣行改善

耕地面積三、二五七甲ニシテ其ノ中小作地一、八七三甲其ノ割合五七、四〇ヲ占ム、農家ノ種別ヨリ之ヲ見ルニ農家總戸數一、九一八戸ノ内自作兼小作ハ六五二戸總戸數ノ二〇%小作農ハ一、二六六戸即チ四・一九%ナリ斯ノ如キ狀況ナルヲ以テ小作關係ノ支配ヲ受クル農家ハ其ノ大半ヲ占ム。故ニ小作慣行ノ如何ハ直チニ農業經營改善普及ニ甚大ナル影響ヲ及ホスモノナリ、依ツテ本庄ハ昭和二年來庄業佃會ヲ設置シ郡聯合業佃會統卒ノ下ニ小作慣行改善ニ努メ昭和七年度末ニ於ケル本庄業佃會獎勵ニ依ル書式契約面積ハ三三八甲總小作地一、八七二甲ノ一八・〇六%ニ過キス、残り八一・九四%ハ口頭契約ニ依ル賤耕契約ナルヲ以テ別記計畫表ニ依リ昭和八年度ヨリ向フ五ヶ年ニ於テ小作地總面積ニ對シ業佃會ニ於テ獎勵シ極力書式契約ヲ締結セシメ所期ノ目的ヲ達成セントス。

五ヶ年書式契約締結督勵計畫表

田畑別	總面積	既契約面積	未契約面積	年別書式契約締結豫定面積					計
				八年度	九年度	十年度	十一年度	十二年度	
田	一、一五〇	二二七	九二三	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	六五七
畑	七三三	六五	六六八	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	六五七
計	一、八七三	三三八	一、五三四	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	一、五三四



二、實施方法

1、地主懇談會

毎年五月及十月ノ二回ニ亘リ區域ヲ定メ部落内地主ノミヲ招集シ之ヲ懇談會ヲ開催シ本會主旨ノ普及徹底ニ努ム。

2、講話會

五月十月ノ農閑期ニ各部落毎ニ講話會ヲ開催シ一般農民ニ對シ本會主旨ヲ理解セシム。

3、業佃會主旨ノ宣傳

區委員會保甲會議其他民衆集合ノ機會ヲ利用ノ外適當ナル時期ニ於テ小作慣行改善ニ關スル活動寫真映寫及宣傳ビラボスターノ作製配付ニ依リ本會主旨ノ宣傳ニ努ム。

三、小作慣行改善督勵

係員戸別訪問ニヨル改善督勵ノ外舊慣ニ依ル契約更新期タル十月一日ヨリ七日迄ヲ業佃週間トシ本期間内庄ノ係員總動員ヲナシ講話會ヲ各農事改實行小組合毎ニ開催スルト同時ニ一面戸別訪問ヲナシ徹底的ニ書式契約ノ締結ヲナサシメントス。

四、業佃懇談會

農閑期又ハ必要ニ應シ部落又ハ主要業主毎ニ業佃懇談會ヲ開催シ事業ニ對スル意見ノ交換ヲナシ

意志ノ疎通ヲ計リ以テ兩者ノ親善融和並ニ本事業ノ進展ニ資セントス。

五、諸調査

本會事業進行上又ハ會員指導上必要ナル左記調査ヲ行ハントス。

- 1、會員ノ堆肥豚舍建設並深耕犁購入調査。
- 2、業主ノ愛佃施設調査。
- 3、其他必要ナル事項。

六、視察

管内會員中ヨリ適當ナル者ヲ選抜シ小作改善及優良業主個人ノ農業經營狀況其他農事ニ關スル實地視察ヲナサシメ事業進展上ノ參考ニ資セントス。

三三、苗栗街業佃會

一、小作契約締結促進

契約締結未済ノ小作地ヲ調査シ專務員ハ常ニ此ノ關係地主並小作人ヲ訪問シ締結實施ヲ勸誘シ務メテ左記ノ通り達成セシメントス。

1、小作地總面積

計千二百九拾五甲



2、縮結濟面積

計千〇〇六甲

3、未縮結面積

二百八拾九甲

4、昭和八年度縮結實施豫定面積百三十甲八五%

二、會員加入

會員數ハ既ニ千人以上ニ達シ農家戸數ノ三分ノ二ヲ加入セシメタルモ尙努力ヲ續ケ加入勸誘セントス。

三、調停事務取扱

當街業佃會設立以來相當ノ歲月ヲ經本會事業ノ進展ト共ニ調停ニ信賴スル者漸次増加シツ、アリ之ハ農村ノ平和維持増進ニ最モ重要ト認メ今後ハ一層細心ノ注意ヲ拂ヒ、公平且ツ敏速ニ問題ヲ解決セントス。

四、講習講話會開催

1、農事講習會

適當ノ時機ヲ見計ヒ本會主催ノ下ニ各字ノ中心人物ヲ集メ、將來農村指導者タラシムヘク一年一回以上公學校卒業又ハ同等ノ農村青年ノ爲講習會ヲ開催セントス。

2、家政講習會

街内ノ小組合員家族並主要農家ノ婦女子ヲ集メ講習會ヲ開催セントス。

3、農談會講話會

農事改良小組合員並主要農家ノ要求ニ應シ隨時ニ農談會農事講話會ヲ開催セントス。

4、地主懇談會

適當ノ時期ヲ見計ヒ街内大地主ヲ集メ小作條件ノ改善ヲ圖リ並愛佃施設ノ普及ヲ促進センガ爲メ懇談ヲ開催セントス。

5、農事小組合員懇親會

農事小組合員ノ間ノ親睦ト農事研究ヲ爲ス目的ヲ以テ一年一回適當ノ時期ヲ見計ヒ懇親會ヲ開催セントス。

五、農事改良小組合ノ指導

將來ノ産業獎勵又ハ地方改良事業ノ對象ハ個人ヨリ團體ニ進ムヘキモノナリ。斯ノ見地ヨリ當街内各字ニ設置シタル芒埔、上南勢、嘉盛、社寮岡、嘉盛(上)西山、内麻、下南勢農事改良實行小組合ニ對シ益々其ノ内容充實ヲ計ル爲メ極力指導援助ヲナスト同時ニ苗栗、田寮、西山尾、維祥農事改良實行小組合ヲ設立スル機運ヲ促進セントス。

1、小組合員ニ指導スヘキ事項



- (イ) 小作條件改善(苗粟郡小作條件改善案ニヨル)
  - (ロ) 主要農作物改良(米、甘藷、柑橘)
  - (ハ) 耕地改善(防風林設置、綠肥栽培、耕地區畫整理)
  - (ニ) 副業獎勵(養豚改良、養鶏改良)
  - (ホ) 農具改善(深耕犁、除草機、稻扱機使用)
  - (ヘ) 經濟改善(生活經濟、生産經濟、消費經濟、金融)
  - (ト) 教育普及(成人教育、兒童教育)
  - (チ) 社會施設(農繁期托兒所、娛樂機關)
  - (リ) 共同施設(共同耕作田經營、集會所、糶乾燥場、糶貯藏倉庫)
  - (ヌ) 其他ノ施設(相互會、老人會)
- 2、組合員ノ實施事項内大抵主マ農ノ小作條件ノ改善ヲ圖リ並ニ愛護施設ノ普及ヲ圖ルニシテ
- (イ) 水稻競作堆肥製造競技
  - (ロ) 苗代品評
  - (ハ) 甘藷競作
  - (ニ) 綠肥栽培競作

- (ホ) 肉豚競技
- (ヘ) 養鶏改良
- (ト) 深耕(六寸)
- (チ) 密植(六十株……六十四株)
- (リ) 三回除草勵行
- (ヌ) 農事講習
- (ル) 農事視察
- (ラ) 堆肥豚舍増築

六、愛佃施設獎勵

- 愛佃施設ノ普及ハ懸テ業佃兩者間ノ融和ヲ促進シ農村ノ平和ニ寄與スル所頗ル多ク將來ハ一層本施設ヲ徹底セシムベク苟モ大地主個人又ハ共同ニ依リ小作人ノ愛護施設ニ對シテハ極力指導援助ヲ與ヘ其効果ヲ増大セシメントス。
- 1、堆肥豚舍建設ニ關スル獎勵。
  - 2、改良農具使用補助ニ關スル獎勵。
  - 3、深耕六寸除草三回ニ對スル補助獎勵。



- 4、綠肥栽培ニ對スル競作獎勵。
- 5、事業視察ニ關スル補助獎勵。
- 6、業佃懇談會開催ニ關スル獎勵。
- 7、裏作獎勵(組合員ヲ中心トシテ)  
農民ノ農閑期ヲ利用シテ收入増加ヲ圖ル爲メ裏作獎勵ヲナシ同時ニ宅地利用ヲ實施セシメントス。
- 8、小組合綜合品評會開催  
小組合ノ事業成績向上ヲ期スル爲メ本年度ヨリ綜合品評會ヲ開催セントス。
- 9、中心人物養成  
農村ノ開發ハ其地方ニ活動スヘキ中心人物ノ献身ノ努力ニ待ツヘキモノ多シ、然シ之レヲ養成スルニハ將來物質的並精神的ニ極力援助指導シ積極的ニ之等中心人物タル優良業佃及篤農家ノ養成ヲナサントス。
- 10、優良地主及優良役員表彰  
本會ノ事業ヲ進展セシメ農事改良ノ實行ニハ地方篤農家及優良役員ノ活動ニ待ツコト頗ル大ナリ故ニ獎賞ノ目的トシテ篤農並優良地主優良役員ニ對シ其ノ功ヲ表彰セントス。

### 三四、頭屋庄業佃會

#### 一、小作契約締結勸誘

小作地面積	昭和七年度迄 締結見込面積	昭和八年度 締結豫定面積	實施方法ノ概要
五六七 <sup>甲</sup>	三三七 <sup>甲</sup>	六〇 <sup>甲</sup>	專務員ガ專ラ勸誘シテ締結セシム

#### 二、調停事務

小作紛争ハ勿論一般紛争ト雖モ務メテ其ノ圓滿解決ヲ計リ以テ農村平和ヲ維持スル爲メ專任書記ヲ名ヲ置ク。

#### 三、農談會開催

農事ノ智識ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ各小組合及各部落毎ニ農談會ヲ開催ス。

#### 四、農事視察

農事改良ニ對スル見聞ヲ廣クスル爲メ會ノ一部ヲ郡下ノ先進地方ヲ視察セシム。

#### 五、農事改良組合ノ指導

1、多收穫研究田ノ設置。



- 2、堆肥舎ノ建設獎勵及製造方法ノ實地指導。
- 3、深耕犁ノ購入使用及競技。
- 4、多收穫品評會開催。
- 5、苗代及綠肥現地品評會開催。
- 6、稻拔機購入使用。
- 7、國語夜學會開催。
- 8、家政講習會開催。
- 9、柑橘園及茶園經營合理化ヲ計ルコト。
- 10、用材方面造林獎勵。
- 11、肉豚多量飼育競技會開催及養鶏品種改良。
- 12、短冊苗代設置獎勵。
- 13、農作物ノ品種改良。
- 14、籾乾燥場ノ設置及種籾貯藏庫ノ設置。
- 15、稗除去獎勵。
- 16、病虫害豫防及驅除實施。

17、農繁期托兒所ノ經營。

六、業佃融和事業促進

- 1、大主々催短期農事講習會。
  - 2、全小作人米作品評會。
  - 3、業佃懇談會。
  - 4、愛佃施設ノ徹底普及。
  - 七、農事改良實行小組合ノ設立
- 仁隆、頭屋、藍坑、老田寮、北坑ノ五組合ヲ設立ス。

三五、公館庄業佃會

一、小作契約締結勸誘

1、契約締結面積

小作地面積	昭和七年度締結面積	昭和八年締結見込面積
1,011 <small>甲</small>	六六〇・三四五 <small>甲</small>	一、二〇〇 <small>甲</small>



2、實施方法ノ概要。

イ、農事改良實行小組合ヲシテ勸誘ヲナス。  
 ロ、係員ハ戸別訪問ヲナシテ勸誘ヲナス。

ハ、十一月一日ヨリ全七日マデ墾耕契約週間ヲ設ケ會長以下全役員ヲシテ勸誘ヲナス。

二、調停事務

小作紛争ハ勿論一般紛争ト雖モ努メテ其ノ圓滿解決ヲ計リ以テ農村平和ヲ維持ス。

三、小作慣行改善

イ、小作料ノ納入割合ノ變更

小作料分納割合ハ從來三、七ナレバ四、六割合ノ變更ニ努メントス。

ロ、小作料ノ品種變更

業佃兩者間ノ福利増進ヲ計ル爲メ納入品種ノ變更ヲ勸誘セン。トス

四、農民教育

農民ノ智識向上農事改良ノ發達ヲ計ル爲メ農閑期ヲ利用シテ長期及短期講習會、家政講習會、家政

六、講話會、國語練習會及農談會ヲ開催シ一般智識向上ヲ計リ以テ農村ノ進展ヲ促ス。

五、業佃融和事務

イ、愛佃施設

業佃兩者ノ協調互助ノ觀念ヲ養成スルガ爲メ小作人ノ懇談會、水稻競作會、綠肥競作會、堆肥豚舎建設、養豚、深耕、耕地區畫整理ノ指導獎勵ヲナス。

ロ、優良小作人及篤農家ノ養成

各大字ニ優良小作人及篤農ヲ養成シ以テ一般ニ範ヲ示サントス。

六、農事改良實行小組合指導

イ、小組台數 既設組合數一〇、設立中組合數八計一八ヶ所。

ロ、農事諸般ノ改善進歩ヲ圖ル目的ヲ以テ農事改良實行小組合ノ綜合品評會ヲ開催シ各小組合員

ノ自覺ヲ促シ以テ農村ニ於ケル自力更生ノ精神ヲ益々發揮セシメントス。

ハ、組合員ノ共同の精神ヲ涵養スルト共ニ組合ノ施設費ヲ自体ガ支辨シ得ル自治的訓練ヲ爲サシ

ムル爲メ共同水稻耕作地ノ經營ノ獎勵ヲナス。

ニ、組合員間ノ親睦ヲ計ルト同時ニ相互扶助ノ目的ニ達スルガ爲メ、各小組合ニ相互會ノ組織ヲ

勸誘獎勵ス。

ホ、指導獎勵

農業技術、農業經營ノ改善、物質ノ共同購買、生產品ノ共同販賣統制、農家經濟、農民生活ノ改善。







特ニ家政講習會ヲ開催シ、婦人ノ智識向上ヲ計リ以テ農村ノ進展ヲ促ス。同會ヲ開催ス。

五、愛佃施設獎勵

本會ハ大地主主催ノ綠肥競作會ヲ積的極ニ指導獎勵ヲ爲サントス。本年、甘藷、芥菜、綠肥競作會及堆肥深耕競技會並ニ苗代品評會開催

生産ノ増進ヲ促進スル爲メ本會ノ會員ニ限り出品セシムル方針ノ下ニ水稻、甘藷、芥菜、綠肥競技會、堆肥深耕競技會、苗代品評會ヲ開催ス。

七、農事改良實行小組合ノ指導

本年度中ニ田洋、七十分、竹園ニ農事改良實行小組合ヲ設立ス。八組合マ四六ニ變更スルハ、苗代品評會既設農事改良實行小組合ニ對シ其ノ健全ナル發達ヲ計ル爲メ極力指導援助ヲナス。

八、農事視察

農事改良ヲ計ル爲メ先進地方ヲ視察セシメ以テ農事改良ニ資セントス。

九、優良小作人及篤農ノ養成

各大字ニ優良小作人及篤農ヲ養成シ以テ一般ニ範ヲ示サントス。

一、本會ノ成績一覽

種別	昭和四年現在			昭和五年現在			昭和六年現在			昭和七年現在		
	件數	面積	歩合	件數	面積	歩合	件數	面積	歩合	件數	面積	歩合
會員數	1,094			1,269			1,269			1,269		
契約件數	96			116			116			116		
契約面積	1,690.97			448.45			633.53			685.67		
契約歩合	15%			41%			58%			67%		
小作紛争調停件數	3件(未決2)			5件(不成立2)			5件(不成立3)			6件		
一般紛争調停件數	19件(不成立1)			25件(不成立1)			23件(不成立1)			23件		
來會ノ視察團	1			3回(3名)			27回(475名)			29回(399名)		

二、自作小作別一覽

種別	自作		小作		計	一戸當ノ耕地面積
	件數	歩合	件數	歩合		
田畑計	426	32%	917	69%	1,343	1,047.3
	489	37%	1,173	71%	1,662	0,718.7
	905	45%	1,090	55%	1,995	2,166.0

三、小作地分布狀況



種別	甲		數	步	合
	數	步			
庄内	六八	二七	九五	六三	二五
郡内	二七	二七	五四	三五	七
州内	七	五	一二	一六	二
州外					

### 三七、三又庄業佃會

#### 一、小作契約締結勸誘

小作地面積	昭和七年度 末締結面積	昭和八年度 締結見込面積	實施方法	概要
四〇二	三六	六〇	毎月定額五甲宛契約締結勸誘ヲ爲シ之レガ 締結ヲ爲スヘシ	

#### 二、紛争調停

小作紛争ハ勿論一般紛争ト雖モ農村ノ平和ヲ維持スル上ニ於テ積極的ニ其ノ圓滿解決ヲ圖ラントス。

#### 三、講習講話會開催

農事改良發達ヲ圖ル爲メ農閑期ヲ利用シテ農事改良小組合員並ニ其他ノ希望者ヲ集合シ農事改良ニ關シ短期講習會及各部落毎ニ農談會ヲ開催ス。

#### 四、競作競技會開催

集約的生産増進ヲ促ス爲メ本會ノ本會ノ會員ニ限り出品セシムル方針ノ下ニ水稻及綠肥ノ競作會並堆肥製造競技會ヲ開催ス。

#### 五、農事改良小組合ノ指導

既設シタル農事改良小組合ニ對シ其ノ健全ナル發達ヲ計ル爲メ積極的ニ指導援助ヲ爲ス。

#### 六、優良小作人ノ指導

業佃融和ノ實ヲ舉グ其ノ感化ニ依リ間接的ニ庄内ニ於ケル業佃間ノ親睦ヲ計ルト共ニ小作地愛護ノ觀念ヲ涵養シ經濟的生活ヲ向上セシメ生産増進ヲ計リ、之ヲ標準トシテ健實ナル農村ヲ建設スル爲メ極力指導ヲ爲ス。

#### 七、優良小作人及組合並ニ役員篤農ノ表彰

他ノ模範トナル可キ優良小作人及農事小組合並ニ役員篤農家等ニ對シ表彰ス。

#### 八、農事視察

農事改良ニ對スル見聞ヲ廣クスル爲メ會員ノ一部ニ先進地方ヲ視察セシム。



九、小作料納入方法ノ改善、適宜ノ時期ヲ見計ヒ業佃懇談會ヲ開催シ米種改良ノ進歩ニ伴ヒ漸進的ニ小作料ノ品種ヲ變更シ此ノ機會ニ於テ小作料納入割合ヲ(五分五分又ハ六分四分)ニ改善ヲ計ラントス。

### 三八、苑裡庄業佃會

一、小作契約締結勸誘

小作地面積	昭和八年三月末日	昭和八年年度	實 施 方 法 概 要
契約締結面積	九三六 <sup>甲</sup>	三〇〇 <sup>甲</sup>	上記ノ通り必ず成績ヲ舉クヘク専任書記ヲシテ活動セシムルト共ニ第三項ヲ基キ適當ニ實施ニ努ム

二、調停事項

小作紛争ハ勿論一般紛争ト雖モ努メテ其ノ圓滿解決ヲ計リ以テ農村平和ヲ維持スル爲メ専任書記ヲシテ紛争ノ内容ヲ精細調査セシメ簡單ナル事件ハ會長、副會長、調停ニ當リ事件複雑ナルモノハ調停委員ヲシテ調停ニ當ラシメ事件ノ解決ニ努ム。

三、農談會開催及農事講習會開催ニ農談會ハ苑裡庄外十ヶ所ニ各一回宛農談會開催及期間三日間ノ農事改良發達ヲ計ル爲メ農閑期ヲ利用シテ苑裡庄外十ヶ所ニ各一回宛農談會開催及期間三日間ノ

豫定ニテ農事改良講習會一回開催スル豫定。

四、農事視察

農事發達ヲ計ル爲メ農事改良小組員及業佃會員中契約者ニ郡内先進地ヲ視察セシム。

五、水稻競作會堆肥製造及深耕競技會開催

生産増進ヲ促進スル爲メ本會ノ會員ニ限リ水稻競作會堆肥製造及深耕競技會ヲ年度内一回開催ス。

六、農事改良組合指導

現在十一ヶ所ノ農事改良小組合アリ、之ニ對シ健全ナル發達ヲ期スル爲メ極力指導ヲ爲スト共ニ更ニ本年度内三ヶ所新設セントス。

七、農事改良小組合ニ對スル補助獎勵

業佃會ニ種籾貯藏庫一ヶ所新設及小組合ニ種籾貯藏庫及籾乾燥場五ヶ所ヲ補助金交付新設セシム。

八、農事改良小組合綜合品評會開催

年度内ニ於テ各小組合ヲ綜合シテ品評會ヲ開催スル豫定。

九、昭和八年度契約大要左ノ如シ



小作地總面積	契約締結済	今後締結 スベキ面積	八年度中契約 締結見込面積	内	譯
二、二九八 <sup>甲</sup>	九六 <sup>甲</sup>	一、三六三 <sup>甲</sup>	三〇〇 <sup>甲</sup>	庄外所有者面積六一〇 <sup>甲</sup> 内二一〇 <sup>甲</sup> 計三〇〇 <sup>甲</sup>	庄内所有者面積七五二 <sup>甲</sup> 内九〇 <sup>甲</sup> 計三〇〇 <sup>甲</sup>

### 三九、通霄庄業佃會

#### 一、小作契約締結實施

昭和八年度豫定甲數ニ達成セシムル爲メ左記ノ方法ニ依リ實施セントス。

契約締結豫定甲數

月	分	豫定甲數	月	分	豫定甲數
六					
五			十		二〇 <sup>甲</sup>
四			十		二〇 <sup>甲</sup>
三			一		二〇 <sup>甲</sup>
二			十		二〇 <sup>甲</sup>
一			十		二〇 <sup>甲</sup>
計					三〇〇

#### イ、未契約地主懇談會

未契約地主ヲ集合シ役場ニ於テ開催又ハ大地主別ニシテ地主宅ニ於テ開催シ徹底的ニ理解セシ

#### ロ、未契約地主訪問

業佃會ノ専務員又ハ街庄吏員出張シ勧誘締結セシム。

#### ハ、實行委員利用

業佃事業遂行上専務員若クハ街庄吏員ノミニテ十分ナル成果ヲ擧グ難ク地方有力者ノ援助ニ俟ツベキモノ多キヲ以テ地方中堅人物ニシテ信望厚キ實行委員(昭和七年度任命)ト連絡ヲ取り勸誘シ積極的ニ本事業進捗ヲ計ラントス。

#### ニ、業佃デパート實施

毎月十五日ヲ業佃デパート定メ街庄吏員一濟契約勧誘ニ出張シ一人最小限度一甲歩ノ契約ヲ締結セシム。

#### 二、業佃事業察

本事業ノ主旨ニ基キ農村指導者ノ農業ニ關スル智識ヲ向上セシムル爲メ各小組合長又ハ熱心ナル業佃會員ヲ選抜シ先進地方ノ業佃事業ヲ視察セシメ以テ本事業ノ進展ニ資セントス。



三、本組合設立善及並其ノ活動促進

本組合新設箇所ニテ大坪頂、福興、土城、五里牌、楓樹窩等ノ各小組合又ハ中心ヲ以テ活動促進策

- 1、月例會ヲ開催セシメ組合員相互ノ意思疎通ヲ圖リ併セテ農事改良實績ヲ擧ゲシム。
- 2、各小組合役員會ヲ開催シ連絡ヲ保チ統制アラシム。
- 3、年ニ一回小組合員懇談會ヲ開催シ各小組合員間ノ親睦ヲ圖ルト共ニ農事改良上體驗シタル實際ヲ發表シ相互ノ智識向上ニ資セントス。
- 4、各小組合綠肥水稻耕作並堆肥製造競技會ヲ開催セシム。
- 5、各小組合ニ農作物品評會ヲ開催セシメ成績優良ニ對シテハ副賞ヲ授與シ以テ將來ノ進展ヲ圖ラントス。
- 6、勸誘獎勵ハ小組合ヲ中心トシテ之ヲ獎勵ニ當ル。
- 7、各小組合ハ庄產業五ヶ年計畫ニ對スル事業施設方法ヲ樹立セシメ組合員一同ハ本會ト一致協力シテ目的ニ達セントス。
- 8、各小組合ニ團體的訓練養成並組合基金造成トシテ共同自作業地ヲ設テ組合員ノ共同作業ヲ行ヒ其收益ヲ基金ニ充テシム。

9、水稻ノ合理的栽培ヲ爲シ將來ノ指針ニ資センガ爲メ相當補助ヲ與ヘ本會指導ノ下ニ試作田ヲ設置ス。

四、講習講話會開催

1、農事講習會開催

本年六月中各小組合員及其家族ニシテ國語ヲ解シ得ル者四〇名ヲ選出シ通霄ニ於テ短期講習會ヲ開催ス。

2、家政講習會

圳頭及烏眉坑、北勢窩小組合員ノ主婦及家族ヲ中心トシテ短期講習會ヲ開催ス。

3、農談會開催

農閑期ヲ利用シ各大字別ニ開催シ本會ノ主旨並產業五ヶ年計畫實施ヲ徹底セシムルト共ニ農事智識ノ普及ヲ計ル。

4、柑橘栽培實地講習會開催

福興小組合ヲ中心トシテ柑橘栽培ノ技術的智識ヲ向上シ斯業ノ發展ヲ圖ランガ爲メ實地講習會ヲ開催ス。

五、各種競作競技會開催



1 水稻競作會開催

契約済小作人ニ出品セシメ成績優良ノモノニ對シテハ賞品又ハ褒賞ヲ授與ス。

2 綠肥競作會開催

各小組員ニ出品セシメ成績優良ノモノニ對シテハ賞品又ハ褒賞ヲ授與ス。

3 堆肥製造競技會開催

小組員及堆肥製造者ニ出品セシメ成績優良ノ者ニ對シテハ賞品又ハ褒賞ヲ授與ス。其ニ農事

六、愛佃施設

地主個人若クハ數人共同ノ愛佃施設ニ對シ獎勵金又ハ副賞ヲ交付ス。

七、優良小作人表彰

書式契約及愛佃施設ノ効果ヲ顯著ナラシムル爲メ優良ノ小作人ニ對シ表彰ス。

八、篤農家養成

合理的農業經營ヲ目的トシ各作物栽培記録ヲ爲シ研究セシメ以テ一般ニ範ヲ示ス爲メニ農耕用具又ハ肥料ノ一部ヲ補助シ篤農家ヲ養成セントス。

四〇、四湖庄業佃會

一、小作契約締結ノ實施

小作地面積	昭和七年度迄	昭和八年度	計	締結歩合
八〇九 <sup>甲</sup>	見込面積	締結豫定面積	一五〇 <sup>甲</sup>	
			六九 <sup>甲</sup>	
			八六 <sup>%</sup>	

二、紛争調停

業佃會設置以來本會ノ調停ニ依頼スルモノ漸次増加スル趨勢ニアリ、紛争調停ハ農村平和維持増進ニ最モ重要ナル事項ト認メ今後ハ二層細心ノ注意ヲ拂ヒ公平ニ一切ノ紛争ヲ解決セントス。

三、愛佃施設獎勵

愛佃施設普及ハ廳ヲ業佃兩者ノ融和ヲ促進シ農村ノ平和ニ寄與スル所頗ル多ク將來ハ一層本施設ヲ徹底セシムヘク地主個人又ハ共同ニ依リ小作人ノ愛護施設ニ對シ極力指導援助ヲ與ヘ其ノ効果ヲ増大セシメントス。

四、中心人物養成

農村ノ開發ハ其地方ニ活動スヘキ中心人物ノ献身的努力ニ待ツヘキモノ多ク之ヲ養成スルコト最モ肝要ノコトニシテ將來積極的ニ之等中心人物タル優良業佃及篤農ノ養成ヲナサントス。

五、農事改良小組員指導獎勵



將來ノ産業獎勵又ハ地方改良事業ノ對象ハ個人ヨリ團體ニ進ムヘキモノニシテ斯ノ見地ヨリ各地ニ農事小團體設立ヲ獎勵シ既設シタル組合ニ對シテハ極力指導援助ヲ與ヘ其ノ内容ノ充實ヲ計ルト共ニ未設地方ニハ努メテ設立スル機運ヲ促進セントス。

六、農民教育ノ普及

イ、農村指導者養成農事講習會開催  
適當ノ時期ヲ選定シ庄ノ中心人物ヲ網羅シ將來農村ノ指導者タラシムヘク講習會ヲ開催セントス。

ロ、農事講習會開催  
本會主催ノ下ニ一回以上公學校ヲ卒業シタル農村青年ニ講習會ヲ開催セントス。

ハ、家政講習會開催  
本會主催ノ下ニ國語ヲ解スル農村婦女ニ講習會ヲ開催セントス。

ニ、農談會講話會開催  
各農事改良小組合ノ要求ニ應ジ月例會ニ農談會農事講話會ヲ開催ス。

七、雜誌配付  
業佃事業ヲ徹底セシムル爲メ年ニ二回聯合會ヨリ發行スル機關雜誌ヲ各農事小組合役員ニ配付セ

八、大地主懇談會ノ開催

適當ノ時期ニ郡内庄外ノ大地主ノ召集シ小作條件ノ改善及愛佃施設ノ普及ヲ促進スル爲メ懇談會

九、農事改良小組合役員懇談會開催

庄内ニ於ケル農事改良小組合ノ連絡統制ヲ計ル爲メ年ニ一回組合役員ヲ召集シ懇談會ヲ開催セントス。

一〇、農事視察

適當ノ時期ニ庄内各農事改良小組合員ヲシテ先進地方ヲ視察セシメントス。

二、農産増殖ノ促進

農産物ノ單位收量ヲ増進セシムル爲メ各小組合總合競技會ヲ左記ノ通り開催セントス。

イ、水稻競技會開催  
ロ、綠肥競技會開催  
ハ、芥菜競技會開催

四一、大湖庄業佃會



一、事業宣傳

農閑期ヲ利用シ活動寫眞ヲ映寫シ主旨ノ宣傳並農事ニ關スル講話會ヲ開催シ以テ本事業ノ進展ヲ期セントス。

二、會員募集

専務職員ヲ派遣シ戸別訪問ヲ爲ス等極力募集ニ努メ以テ本會ノ目的達成ヲ期セントス。

三、小作契約締結斡旋

一、將來ノ農村平和ヲ計ラントスルニハ先ヅ長期ノ書式契約締結ニヨリ耕作上ノ安定ヲ與ヘ地力ノ増進生産ノ増加ヲ圖リ以テハ諸種ノ紛争ヲ防止スルニアルモノナレバ極力書式契約締結ヲ斡旋シ本事業ノ完成ヲ早カラシメントス。

二、豫定件數

農家戸數	昭和八年三月末日現在締結件數	昭和八年度中ニ於ケル豫定契約件數	摘	要
1,110	302	300		

四、農事改良實行小組合指導獎勵

從來ノ農家ノ活動狀況ヲ見ルニ各農家相互間ハ何等ノ聯絡統制モナク爲メニ農産増殖上遺憾ニ不

堪ニ付州五ヶ年計畫ニ基キ昭和八年度ニ於テ各部落ニ於ケル中心人物ヲ主体トセル農事改良實行小組合ヲ設置セシメ適地適作物ノ多角形農業ヲ勸メ生産品ノ販賣需用品ノ購買等ヲ共同化シ以テ農家經濟上ノ向上ヲ圖ラントス。

五、改良農具普及斡旋

信用アル農具販賣店ヨリ見本ヲ取寄セラ陳列シ一般ニ縦覽セシメ以テ會員全般ニ亘ツテ廣ク改良農具使用ノ精神ヲ普及シ以テ農事ノ改良ヲ圖ラントス。

六、信用組合へ加入指導勸誘

本會員ヲ信用組合ノ組員ニ包容スルコトハ農家經濟ノ圓滑ヲ計ル所以ノモノナレバ此ノ際及ブ限リ速ニ信用組合ニ加入勸誘ニ努力セントス。

七、堆肥製造競技會開催

從來農會及庄ニ於テ堆肥豚舍建設獎勵ヲナシ相當建設ヲ見タリ、依ツテ堆肥豚舍利用及一般農家ノ施設觀念ノ向上ヲ計ル爲メ、會員ノ堆肥製造競技會ヲ催シ、堆肥製造ノ指導ニ努メントス。

八、會員農事視察

優良會員ヲ選拔シ業佃會事業其ノ他一般農林業等ノ視察ヲナサシメハ智識ノ涵養ヲ圖ラントス。

四二、獅潭庄業佃會



一、自作農養成

庄下水田三三六甲、畑一〇九甲ニシテ、庄内地主所有八四甲ノ外二六一甲ハ庄外地主所有シ現在ノ農家狀況ヲ見ルニ住民九三九戸ノ中農家戸數ハ七四六戸ニシテ庄民ノ多クハ小作農ナリ、庄民生活ノ安定ヲ計ルニハ先ツ以テ自作農創設ヲナシ、之ヲ完成スルハ目下焦眉ノ急ナリト認ム、前年ヨリ専任書記ヲ置キ庄内ニ存スル一市十八街庄基本財産豫定地一千餘甲ヲ地元農民ニ於テ引受タルコトトシ、之ガ計書ヲ立テ一市十八街庄基本財産地引受造林及開墾組合ヲ組織セシメタリ、尙庄ニ聯合會ヲ置キ統一ヲ圖ルベク其筋ニ出願中ナリ、之ニ携ハル三三七名ノ組合員ニヨリ漸進的ニ健實ナル農村ノ基礎ヲ作ラシメントス。

二、小作契約締結斡旋

昭和八年豫定甲數五ヶ年計書ニ依ル契約締結表

年 度 別	豫定 契 約 面 積	締 結 率
昭和八年度	五五〇〇〇	二九六 <sup>甲</sup> 〇〇〇
全九年度	五五〇〇〇	二九六〇〇〇
全十年度	五〇〇〇〇	二九六〇〇〇
全十一年度	五〇〇〇〇	二九六〇〇〇
全十二年度	五〇〇〇〇	二九六〇〇〇

計 11500000 1,880,000

小作地ノ競作ヲ防キ耕地改良生産ノ增收ヲ計ラントセバ業佃間ニ長期間ノ書式契約ヲ締結セシメ小作ノ安定ヲ計リ佃人ヲシテ土地改良ヲナサシメザレバ生産ノ増加ハ得テ望ムベカラザルナリ、故ニ之ガ契約斡旋ニ極力努力シ、他方業佃間ノ融和ヲ計リ互ニ協調シ以テ農家ノ經濟ヲ緩和向上セシメ、而シテ五ヶ年間ニ契約ヲ終了セシメントス。

三、業佃紛争調停

會員相互間ニ農事紛争發生セル場合ハ之ヲ公正且ツ迅速ニ調停解決セントス。

四三、卓蘭庄業佃會

業佃會事業ハ農業生産ノ増加並ニ業佃間ノ親善ヲ圖ルガ爲メ左記事業ヲ計書セントス、業佃隆盛ナレバ農村振興トナル、而ルニ小作農家ハ農業總戸數ノ三分ノ二以上ヲ占メ居ルニ村キ業佃間ノ融和協力如何ニ依リ直接地方ノ經濟ニ影響ヲ及ボシ延テハ國家經濟ニ影響スルコト洵ニ至大ナリト稱スヘク之ガ完璧ヲ圖ルガ爲メ本計書ヲ樹テ以テ事業ノ完成ヲ期セムトス。

一、事業宣傳

事業主旨ヲ徹底ヲ期スル爲メ家長會、農談會、保甲會議等各種會合ヲ利用シ宣傳ニ努ム。



- 1、家長會ハ大字別ニ開催スルコト。
- 2、農談會ハ大字又ハ小字別ニ左記期間ニ開催スルコト。  
第一回、自五月至六月、第二回自十一月至十二月。
- 二、會員募集  
本事業ハ農家全部ニ及シ以テ事業ノ完成ヲ期スルカ爲庄内ノ農家ハ勿論庄及地主モ洩ナク會員ニ加入セシムル爲メ本年度左記計畫ニ依リ會員募集ニ努メントス。

農家戸數	昭和七年十二月末現在	昭和八年	昭和九年	計
	八〇九	五〇六	一五三	一五〇
				八〇九

三、小作契約締結ノ斡旋

小作契約締結ハ農業生産ノ上ニ重大ノ使命ヲ有スルモノナレバ會員タルモノハ洩ナク小作契約締結實行セシムベク斡旋ニ努メントス。

- 1、小作契約締結斡旋方法ノ目標。
- 2、當庄ニ於ケル役員ニシテ未ダ小作契約セザルモノハ直チニ實行シ然ル後中心人物ヨリ斡旋ニ努メ以テ他ニ範ヲ示サントス。

3、昭和八年ヨリ昭和九年迄稍理解アルモノニ着手シ漸次ニ新規契約締結ニ改正スル様斡旋スルコト。

4、契約締結豫定

小作農家戸數	昭和七年十二月末現在	昭和八年	昭和九年	昭和十年	計
	四七八	一一五	一三〇	一三三	一一〇
					四七八

四、業佃紛争調停

業佃紛争ニ對シテハ常ニ業佃兩者ノ實行ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ、事件ノ發生ヲ未然ニ防止シ本會事業ノ本旨ニ基キ所謂平和ノ農村ニ努ムルハ勿論ナルモ時ニ兩者ノ紛争ヲ醸シ之ガ調停申込アル場合ハ其實況ヲ充分ニ深究シ四圍慣行實例等ヲ參酌シ公平無私ノ調停ヲ迅速ニ行ヒ以テ兩者ノ圓滿解決ニ努メントス。

五、指導及獎勵

- 庄ト連絡シ指導獎勵スル事項次ノ如シ。
- 一、堆肥隊舎建設増勵及堆肥製造法指導。
- 二、深耕犁購入獎勵。
- 三、深耕競技會。
- 四、多收穫競作會。
- 五、堆肥品評會。







終